

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分 一部、令和7年度分を含む)

静岡県立小山高等学校

目 次

1	事務事業に関すること	事務事業の概要	1
		事務執行の根拠法令調	20
		学校施設の概要	21
		在籍生徒調	23
		入学志願者及び入学者数調	24
		卒業生の動向調	26
		生徒の状況	27
		授業料収納状況調	29
2	職員に関すること	職員調	31
		職員の年齢調	34
		健康管理	35
3	予算の総括に関すること	歳入予算執行状況調	36
		県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	42
		現金出納調	43
		預金調	44
		郵券等受払調	45
		歳入歳出外現金調	46
		歳出予算執行状況調	47
		委託料等歳出予算執行状況節別集計表	53
4	補助金等に関すること	委託料に関する調	54
		補助金支出調	57
		負担金支出調	58
5	工事に関すること	建築工事調	59
6	財産に関すること	公有財産調	61
		借地借家等調	62
		事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	63
		行政財産貸付・使用許可調	64
		備品・図書調	65
		主要備品調	69

事務事業の概要

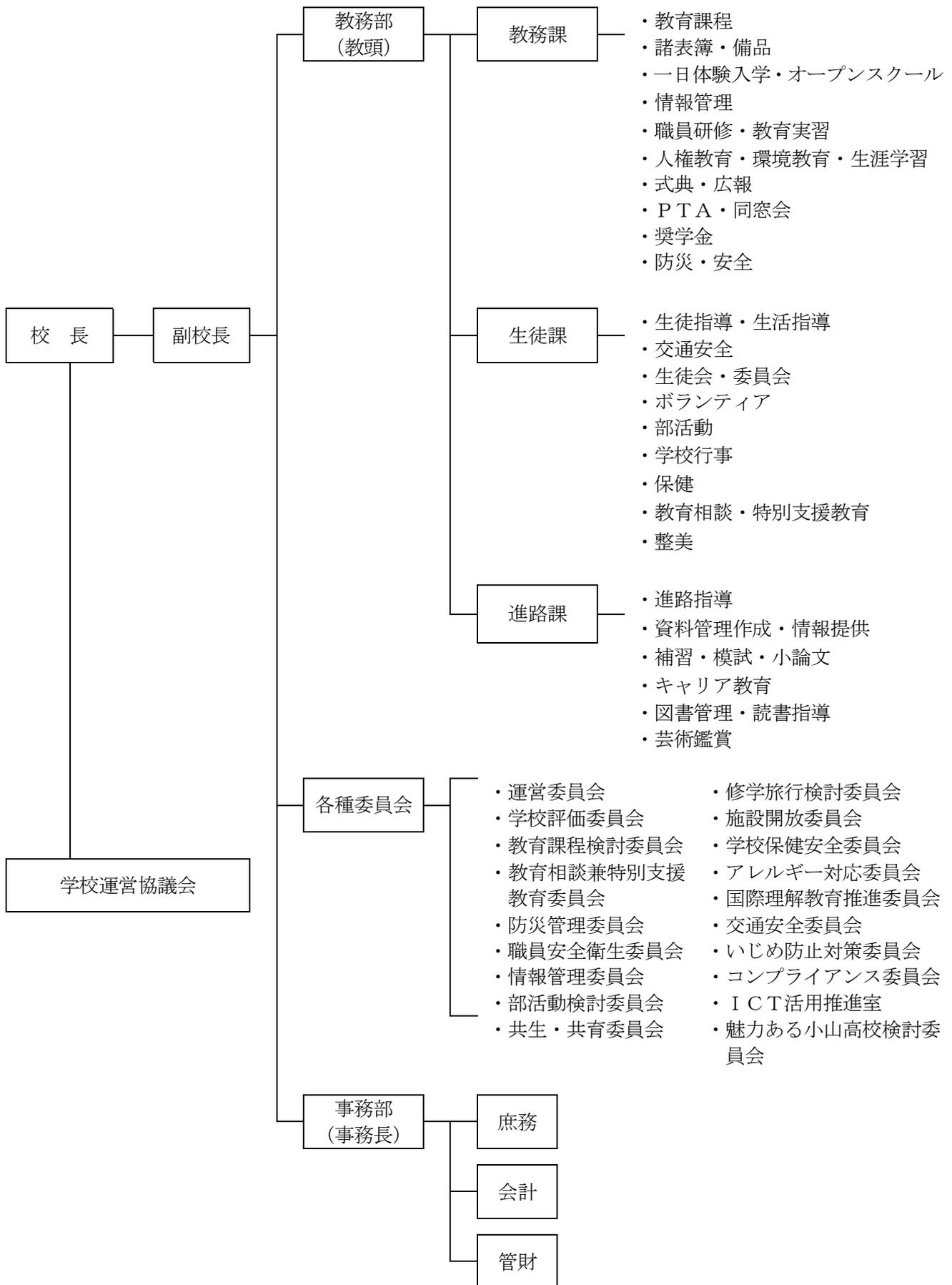
1 概況

(1) 学校の沿革

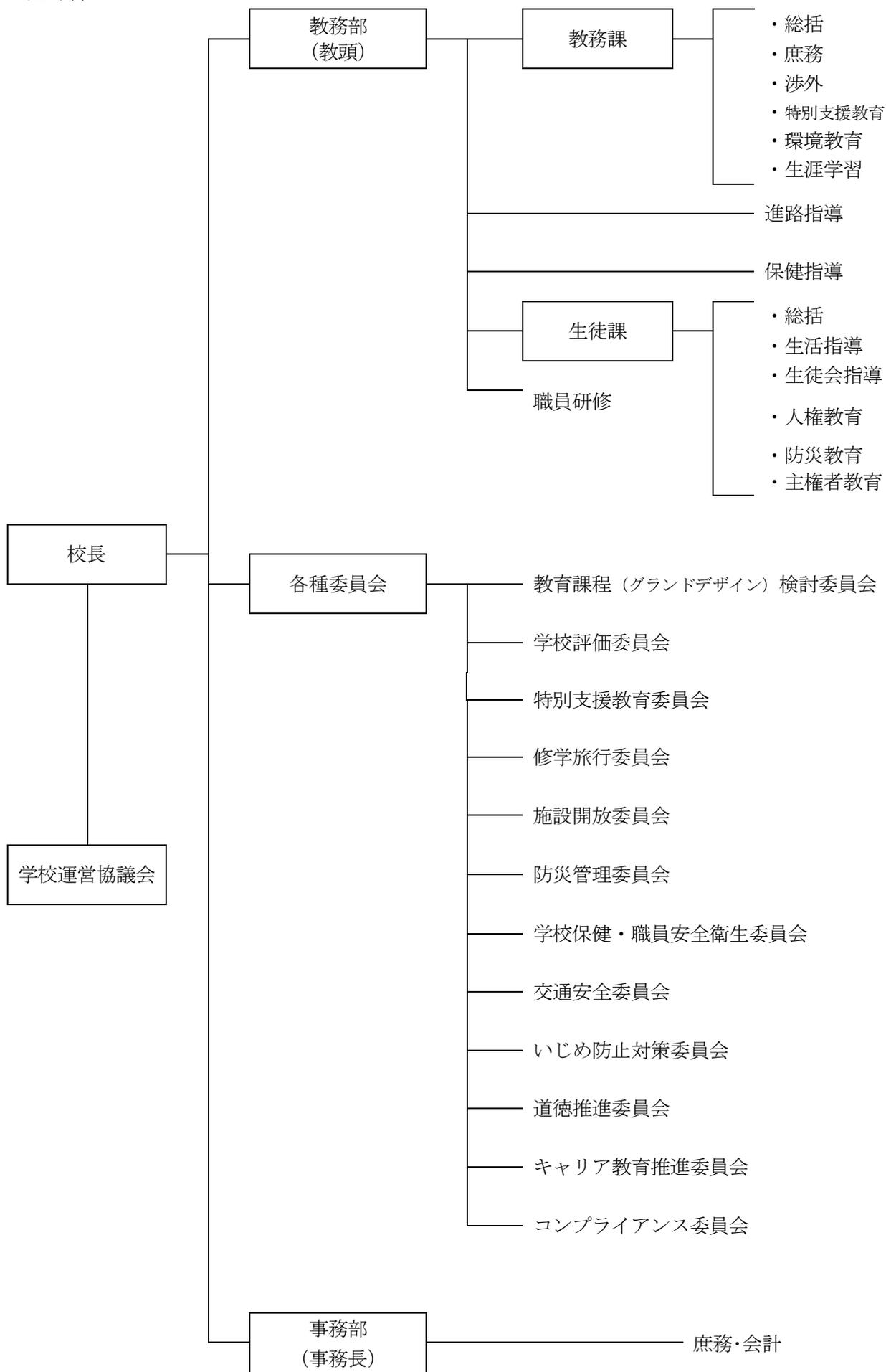
- 昭和 54. 12. 19 静岡県教育委員会は、「第2次生徒急増後半期の高等学校整備計画」で、
昭和 60 年度沼津・駿東学区に高等学校を新設することを発表
57. 12. 27 設置場所を駿東郡小山町竹之下に決定
58. 7. 20 用地取得
59. 4. 1 沼津・駿東学区新設高等学校設立準備委員長ほか2人を発令
59. 7. 26 建築工事起工式举行
59. 12. 1 設立準備委員1人発令
59. 12. 17 静岡県議会定例会において、校名を静岡県立小山高等学校と議決
59. 12. 20 昭和 60 年度入学者募集定員を全日制課程普通科 225 人、定時制課程
普通科 40 人と決定
60. 2. 28 第1期工事竣工
60. 3. 7~8 御殿場南高等学校で第1回入学者選抜学力検査を実施
60. 4. 1 静岡県立御殿場高等学校小山町立小山分校(定時制課程)を統合併置
60. 4. 8 開校・入学式を举行
61. 1. 20 体育館竣工
61. 2. 28 体育施設・自転車置場等竣工
61. 3. 1 定時制課程第1回卒業式举行
61. 4. 1 入学者募集定員全日制課程普通科 270 人、定時制課程普通科 40 人
61. 5. 31 第2期工事竣工
61. 8. 31 プール竣工
62. 4. 1 入学者募集定員全日制課程普通科 315 人、定時制課程普通科 40 人
62. 5. 21 校歌制定・披露
62. 11. 7 校舎落成記念式典举行
63. 3. 3 全日制課程第1回卒業式举行
- 平成 3. 3. 16 弓道場「嶺志館」落成
4. 4. 1 入学者募集定員全日制課程普通科 270 人、定時制課程普通科 40 人
5. 4. 1 入学者募集定員全日制課程普通科 301 人、定時制課程普通科 40 人
6. 4. 1 入学者募集定員全日制課程普通科 294 人、定時制課程普通科 40 人
6. 10. 15 創立 10 周年記念式典举行
7. 4. 1 入学者募集定員全日制課程普通科 246 人、定時制課程普通科 40 人
8. 4. 1 入学者募集定員全日制課程普通科 240 人、定時制課程普通科 40 人
10. 1. 31 モニュメント、作品「と」(彫刻家 杉村 孝 作)を設置
16. 10. 22 創立 20 周年記念式典举行
17. 4. 1 入学者募集定員全日制課程普通科 200 人、定時制課程普通科 40 人
20. 10. 1 全普通教室・特別教室(一部)にプロジェクター設置
23. 4. 1 入学者募集定員全日制課程普通科 160 人、定時制課程普通科 40 人
26. 11. 1 創立 30 周年記念式典举行
30. 4. 1 入学者募集定員全日制課程普通科 120 人、定時制課程普通科 40 人
- 令和 6. 4. 9 同一敷地内に静岡県立御殿場特別支援学校小山分校が開校
6. 10. 23 創立 40 周年記念式典举行
7. 4. 1 入学者募集定員全日制課程普通科 80 人、定時制課程普通科 40 人

(2) 組織図

<全日制>



<定時制>



2 目指す学校像

スクール・ミッション

北駿地域の普通高校として、主体的な活動や多様な人々との協働による教育活動を通して、校訓『自尊』のもと、「いかなる時代にもたくましく生き抜ける人間」の育成を目指す。

<全日制>

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
地域社会に貢献するための3つの力を育成します。 ・前に踏み出す力 (主体性、実行力) ・チームで活動する力 (協調性、コミュニケーション能力、リーダーシップ) ・考え抜く力 (知識・技能、課題発見力、思考力)	○地域社会に貢献する人材を育成するために、地域と連携し、地域を舞台にした学びや体験活動を行います。 ○主体的・協働的な人材を育成するために、主体的・対話的で深い学びによる授業実践や、課題発見・思考を重視した教育活動を実践します。 ○豊かな人間性・社会性を育むために、教科・科目、特別活動、総合的な探究の時間、部活動など、すべての教育活動にバランス良く取り組める教育課程等を編成します。	○将来にわたって、地域や社会に貢献しようという志を持った生徒を求めます。 ○自他ともに尊重し、規律正しい行動を心がける生徒を求めます。 ○学習活動、特別活動、部活動等の教育活動に前向きに取り組む生徒を求めます。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 地域社会に貢献する人材を育成する。
- イ 主体的・協働的な人材を育成する。
- ウ 人間性や社会性を育む教育活動と生徒指導を推進する。
- エ 教育環境を整備し、信頼ある学校づくりを推進する。

<定時制>

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
“いかなる時代にもたくましく生き抜く”ため、以下の3つの力を育成します。 1. 自らの心を磨く力 2. 自らの学びを高める力 3. 自らの進路を切り拓く力	次のような教育活動を行います。 1. 日々の学習活動や行事参加を通じ、協調性やコミュニケーション能力の向上を図る教育活動 2. 授業・学習を通じ、学ぶ楽しさを実感するとともに、自己肯定感を涵養する教育活動 3. 4年間で主体的に進路選択を行えるよう、意識醸成に努める教育活動	次のような生徒を求めます。 1. 自らを律し、規範を遵守し、他者との協調性やコミュニケーションを大切にしている生徒 2. 日々の学習を大切にするとともに、各種検定取得に積極的に取り組む生徒 3. 社会にとって有為な存在となることを意識し、主体的に進路選択を行う生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 自立の心を持った生徒を育てる生活指導とすべてに優先する安心安全な学校作り
- イ 基礎基本の定着と自ら学ぶ姿勢の育成
- ウ 勤労観と自ら進路を切り拓く力の育成
- エ 家庭・職場・地域から理解及び協力を得られる情報発信
- オ 組織力を高め、学校全体として教育に当たる体制の推進
- カ ワーク・ライフ・バランスを意識した業務の推進

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

<全日制>

(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	地域社会と連携した教育活動を推進する。	・「部活動、生徒会活動、学校行事などを通して、地域との交流が図られている。」生徒、教員 80%以上	(生徒課) 生徒 85.6% 教員 90.8%	A	・小山町、各種団体との連携により多くの生徒が地域と連携し、探究・奉仕活動を行った。 ・通常の業務を圧迫しないスケジュールを検討したい。
	生徒の適性や希望に応じたきめ細やかな進路指導を行う。	・「学校は進路情報を提供し、進路説明会を開くなど、計画的な指導を行っている。」生徒、保護者 80%以上 ・「学校の進路指導には満足している。」生徒、保護者 85%以上 ・「(3年生進路決定者のみ) 決定した進路先に満足している。」生徒、保護者 95%以上 ・「(教員のみ) 学びの基礎診断、模試を学習指導や進路指導に有効活用した。」教員 80%以上	(進路課) ・「計画的な指導」項目 生徒 97.4% 保護者 92.9% ・「進路指導に満足」項目 生徒 97.4% 保護者 82.3% ・「進路に満足している」項目 生徒 98.8% 保護者 95.8% ・「学びの基礎診断活用」項目 教員 72.0%	B	・生徒、保護者からは本校の進路指導については肯定的な評価が得られた。 ・進路情報の提供内容や伝達方法については不十分な面があった。また、模試分析についても教科間で内容に差があった。 ・進路情報の伝達方法やタイミング、内容について検証を行う必要がある。 ・他校の実施例を紹介するなど模試分析の内容を充実し、授業改善へ繋げるため再考する必要がある。
イ	主体的・対話的で深い学びを推進する。	・「先生方は、わかりやすく学力がつく授業を行っている。」生徒 90%以上 ・「生徒は、授業や課題に主体的に取り組んでいる」生徒、保護者、教員 80%以上 ・「(教員のみ) 総合的な探究の時間の趣旨を理解し、指導することができる。」教員 80%以上	(教務課) ・「学力がつく授業」項目 生徒 88.5% ・「授業や課題に主体的」項目 生徒 94.8% 保護者 80.4% 教員 52.0% (総探担当) ・「総探の趣旨理解と指導」項目 教員 68.0%	B	・3年生の総合的な探究の時間について、時間を有効活用できていない。適切な支援ができず「自習の時間」のようになってしまふことが多々あった。 ・総合的な探究の時間について、1年生の頃から進路を意識した探究課題を設定させ取り組ませることを検討したい。
	教育DXを推進する。	・「学校は、ICTの活用等、授業改善に積極的に取り組んでいる。」生徒、保護者、教員 85%以上	(教務課) 生徒 91.5% 保護者 90.1% 教員 96.0%	A	・課題提出や情報共有がしやすく、有効的に活用できている。 ・一人一台端末は1年生の使用方法に問題があった。情報リテラシーをしっかりと意識して端末を利用させる方法を考え、徹底させていく。

ウ	<p>生徒の主体的な活動を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒は、生徒会活動や学校行事に主体的に取り組んでいる。」生徒、教員 90%以上 ・「笙陵祭、修学旅行、クロスカントリーなどの学校行事は充実している。」生徒、保護者、教員 90%以上 ・「部活動はさかんで充実している。」生徒、保護者、教員 90%以上 	<p>(生徒課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「特別活動に主体的」項目 生徒 95.6% 教員 96.0% ・「学校行事が充実」項目 生徒 95.9% 保護者 96.3% 教員 100.0% ・「部活動が充実」項目 生徒 83.3% 保護者 83.0% 教員 96.0% 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の評価が生徒、保護者ともにやや低い。次年度より全学年任意加入となることを踏まえ、今後の部活動の在り方について検討をする必要がある。 ・「さかんで充実している」という内容について具体的に考えたい。
	<p>人権意識を涵養し、成長を促す生徒指導を実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「小山高生は元気な挨拶ができる。」生徒、保護者、教員 90%以上 ・「小山高生は正しい身なりや服装が習慣化できている。」生徒、保護者、教員 90%以上 	<p>(生徒課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「元気な挨拶」項目 生徒 91.2% 保護者 84.4% 教員 84.0% ・「正しい身なりや服装」項目 生徒 97.4% 保護者 99.0% 教員 100.0% 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自己評価は昨年度と比べ 15%以上高くなった。 ・保護者、教員の評価は生徒と比べ低いため、大きな声で元気に挨拶を行うなど挨拶の質を高めていく必要がある。 ・全教職員が率先して挨拶を行う必要がある。
エ	<p>生徒が安全・安心に登校できる教育環境を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「小山高生は安全・安心な学校生活をおくることができている。」生徒、保護者、教員 95%以上 ・「小山高生は交通法規を守り、事故防止に努めている。」生徒、教員 90%以上 ・「友人や先生など悩みを相談できる人がいる。」生徒 90%以上 	<p>(生徒課・管理職)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安全・安心な学校生活」項目 生徒 98.5% 保護者 97.6% 教員 100.0% ・「交通法規遵守」項目 生徒 96.2% 教員 88.0% ・「悩みを相談できる」項目 生徒 89.1% 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々、人間関係の構築に悩みを抱える生徒が増えてきている現状がある。学校として、生徒が安心できる居場所を提供するとともに、他人へ配慮した上で、その時その場でどのような言動が適切であるか、自ら考え、決定し、実行できる自己指導能力を獲得させたい。 ・定期的な施設設備の点検により、安全・安心な学校生活を送ることができるよう引き続き努めていく。
エ	<p>働きやすい職場環境と法令遵守の姿勢を確立する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「(教員のみ) 教職員間のコミュニケーションは活発であり、チームとして機能している。」教員 80%以上 ・「(教員のみ) お互いのワークライフバランスを尊重しつつ、教育活動に協働して取 	<p>(管理職)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニケーション」項目 教員 72.0% ・「ワークライフバランス」項目 教員 80.0% 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフバランスの尊重の意識が向上した。 ・教職員間のコミュニケーションは活発であるが、組織的に十分機能していないとみられる教育活動について、検討・改善を行う。

		り組んだ。」教員 80%以上			
エ	地域に開かれた学校を目指して情報発信を行う。	・「保護者、中学生、地域に学校の魅力が伝えられるような情報発信をしている。」80%以上	(教務課・管理職) 生徒 85.9% 保護者 79.0% 教員 92.0%	A	公式インスタグラム更新回数 103 回、新聞掲載 34 回 (いずれも 12 月まで)、広報おやまへの掲載、地域のイベントへの出演、オープンスクール、各種説明会等、広報活動を積極的に実施した。一日体験やオープンスクールでは事前の告知も丁寧に行い、当日の来校者も多かった。 ・中学生(保護者)にどのような情報を公開してほしいか、中学校を通して聞いてもらい、それに合った情報を提供していく。

<定時制>

(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	自立の心を持った生徒を育てる生活指導とすべてに優先する安心安全な学校作り (ア) 挨拶の励行 「挨拶は、人に好かれる魔法の言葉」 (イ) 積極的な交通指導と校内巡視 (ウ) 生徒会活動の活性化 (エ) 学校生活のルール・マナーを徹底 (オ) 施設、設備の安全管理の徹底	登下校を含む学校生活における重大事故発生件数 0 件	・重大事故発生 0 件 ・交通事故発生 0 件	A	・交通講話 (御殿場警察署) 二輪車グッドマナー教室 (御殿場自校) を通して、交通安全の意識を高めることができた。 ・年間を通して登校指導を実施し、生徒への啓発に努めた。 ・免許取得者の増加 (特に原付) をふまえ、今後も交通法規を遵守させる。
		いじめ、恐喝、窃盗の発生 0 件	・いじめ、恐喝、窃盗の発生 0 件 (昨年度 1 件)	A	・多くの生徒が規範意識を持ち、落ち着いた学校生活を送ることができた。 ・小中学校時の不登校等、集団生活の経験が少ない生徒について、コミュニケーションスキルを向上させ、生徒間トラブル・問題行動を未然に防止していく。
		「授業・生活アンケート」の主体的行動、生活態度の項目における肯定的自己評価 90%以上	・肯定的な自己評価 90.7% 遅刻欠席時の連絡 (前年比 14%減)、教室ロッカーの整理 (6%減)、信頼して相談できる友人がいる (5%減)	A	・基本的な生活習慣の確立については個人差が大きい。特に、課題を有する生徒については情報交換会等で個々の状況を把握し、改善に繋げたい。 ・欠席遅刻の連絡徹底、安易な欠席の防止、授業規律向上・確立はすべての生徒に継続的に指導していく。

イ	基礎基本の定着と自ら学ぶ姿勢の育成 (ア) 生徒一人一人の学力の把握に努め、検定取得を推奨 (イ) 学習支援員等による授業外での学習支援 (ウ) 生涯学習の基礎作り	授業アンケート評価 10項目全てで肯定的評価 95%以上	・10項目中9項目で肯定的評価 95%以上。 ・低評価なもの「授業は生徒が質問や発言をしやすい雰囲気だったか」に 92%(前年比 3%減)	A	・全体的に落ち着いた雰囲気の中、集中して授業に臨んでいる。基礎基本の定着という観点では、「欠点」を取ってしまう生徒への継続的支援を考えなければいけない。
ウ	勤労観と自ら進路を切り拓く力の育成 (ア) ハローワークや地域の関係機関と連携し、キャリア教育を充実 (イ) 地域の人材等を活用し、地域の産業や課題について学ぶ機会を充実	進路決定率 100%	・卒業予定者 8 名中、進路決定者は、7 名。残る 1 名も連絡待ち。	B	・進学、就職共に学校の見通すスケジュール通りに指導が行えなかった。 ・昨今の生徒の質を踏まえ、次年度以降どう進路意識を醸成するか、一年かけて見直しを図るなどした。
		進路行事を各学期 1 回実施	・外部機関と連携し、進路行事を各学期 1 回実施した。 ・地元企業を講師として招き、「スーツ着こなし講座」を実施した。	A	・進路行事を通して、進路について考える動機付けとなった。 ・進学、就職共に、生徒には早い段階で「私事」として捉えて欲しい。また、学校側は引き続きそのきっかけづくりを行っていく。
エ	家庭・職場・地域からの理解、協力を得られる広報体制の整備 (ア) 教育活動の内容について保護者や地域へホームページ(以降、HP)を活用しての情報発信	HP 毎月の更新 1 回以上	・ホームページのリニューアルを行った。 ・行事報告が令和 6 年度は 24 件(*1 月末現在)と、毎月更新の目標を達成している。	A	・今年度ホームページのリニューアルを行った。 ・行事報告記事の更新 24 件。 ・生徒への緊急時等の連絡手段は 39mail、Google クラウドなどを場面により使い分けている。 ・今後も小山高校定時制の情報発信手段の一つとして、更新の頻度を保ちたい。
		定時制広報方針を年度内策定	・今年度中に策定の予定	B	・昨今の定時制生徒の状況を鑑み、策定を行っている。
オ	組織力を高め、学校全体として教育に当たる体制の推進 (ア) 組織力を高めるための校内	研修内容は適切だったか、意思の共有ができたか、について職員アンケートを行い、肯定的な評価 90%以上	100%の教員が肯定的評価	A	・今年度研修(一部):「発達支持的な生徒指導の充実」(総合教育センター訪問時)、「ICT 研修(“桃鉄”活用の模索)」、「定時制・通信制高等学校における特別支援教育の現

	研修の充実 (イ) 分かりやすい授業のためのユニバーサルデザインの考え方やICTの活用方法の共有				状と課題」(職員研修)などを定期的に行った。
カ	教職員がワーク・ライフ・バランスを意識した業務の推進 (ア) 教材研究や情報交換の時間の確保 (イ) 休暇取得の推奨 (ウ) 自己研鑽や心身のリフレッシュによる教育効果の向上	夏季休業中の休暇取得5日以上。年間10日以上	教職員8名全員が達成。	B	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は夏季休業中の休暇取得促進日(8/13~15)に加え、時差勤務が試行的に実施され、これらを有効に活用し、すべての教職員が休暇取得できた。 年間10日以上についても、達成できているが、これをいかに教育効果の向上につなげていくかは課題となる。
		「生徒と向き合う時間」、「指導準備時間」が増えていると感じる教員の割合80%以上	「非常によく達成されている」「概ね達成されている」が100%	A	<ul style="list-style-type: none"> 分掌内での業務分担の見直し等を継続して行う。分掌業務以外にも個々の教員の抱える業務は多岐に渡る。継続して、整理していきたい。 《管理職》年間を通じ、積極的な年休取得を呼びかけた。反面「夜間定時制」という特殊な勤務であること、緊急で個別な対応が必要な指導場面等もあり、年休を取りづらい実態がある。 今後も継続的な声掛けや、長期休業中の休みの取得などを勧め、職員間の雰囲気涵養に努めたい。

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標
 <全日制>

(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当
ア	地域社会と連携した教育活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動における地域資源の活用と地域連携 一部活動一交流の実践 	<ul style="list-style-type: none"> 「部活動、生徒会活動、学校行事などを通して、地域との交流が図られている。」生徒、教員80%以上 地域や外部機関との連携30回以上 	全教員

	生徒の適性や希望に応じたきめ細やかな進路指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・面談、進路説明会、進路行事を通しての進路指導及び進路情報の提供 ・学びの基礎診断、模試を活用した学習指導、進路指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校は進路情報を提供し、進路説明会を開くなど、計画的な指導を行っている。」生徒、保護者 80%以上 ・「学校の進路指導には満足している。」生徒、保護者 85%以上 ・「(3年生進路決定者のみ) 決定した進路先に満足している。」生徒、保護者 95%以上 ・「(教員のみ) 学びの基礎診断、模試を学習指導や進路指導に有効活用した。」教員 80%以上 	進路
イ	主体的・対話的で深い学びを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観、校内研修等による授業改善の推進 ・課題、小テスト、補習等による学力向上 ・総合的な探究の時間の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・「先生方は、わかりやすく学力がつく授業を行っている。」生徒 90%以上 ・「生徒は、授業や課題に主体的に取り組んでいる」生徒、保護者、教員 80%以上 ・「(教員のみ) 総合的な探究の時間の趣旨を理解し、指導することができる。」教員 80%以上 	教務
	教育D Xを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用による授業改善の推進 ・1人1台端末の活用方法の検討とICT環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校は、ICTの活用等、授業改善に積極的に取り組んでいる。」生徒、保護者、教員 85%以上 	教務
ウ	生徒の主体的な活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動における生徒の主体的な活動の推進 ・リーダー研修会等によるリーダーの育成 ・部活動の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒は、生徒会活動や学校行事に主体的に取り組んでいる。」生徒、教員 90%以上 ・「笙陵祭、修学旅行、クロスカントリーなどの学校行事は充実している。」生徒、保護者、教員 90%以上 ・「部活動に積極的に取り組んでいる」生徒 80%以上 ・「(教員のみ) 部活動ガイドラインの遵守」教員 100% 	生徒
	人権意識を涵養し、成長を促す生徒指導を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶運動の実施 ・服装指導、道徳教育、人権教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「小山高生は元気な挨拶ができる。」生徒、保護者、教員 90%以上 ・「小山高生は正しい身なりや服装が習慣化できている。」生徒、保護者、教員 90%以上 	生徒
エ	生徒が安全・安心に登校できる教育環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練、交通指導、教育相談体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・「小山高生は安全・安心な学校生活をおくることができている。」生徒、保護者、教員 95%以上 ・「小山高生は交通法規を守り、事故防止に努めている。」生徒、教員 90%以上 ・「友人や先生など悩みを相談できる人がいる。」生徒 90%以上 	生徒
		<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備における事故発生0件 	事務
	働きやすい職場環境と法令遵守の姿勢を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の見直しと効率化 ・働きやすい職場環境づくり ・法令遵守の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・「(教員のみ) 教職員間のコミュニケーションは活発であり、チームとして機能している。」教員 80%以上 	全教員・

働きやすい職場環境と法令遵守の姿勢を確立する。		・「(教員のみ) お互いのワークライフバランスを尊重しつつ、教育活動に協働して取り組んだ。」教員 80%以上	管理職
	・適切な会計管理	・適切な会計管理の執行と不祥事0件	事務
地域に開かれた学校を目指して情報発信を行う。	・中学生に対する学校紹介及び地域、保護者等への情報発信の工夫 ・一日体験入学及びオープンスクールの充実	・「保護者、中学生、地域に学校の魅力が伝えられるような情報発信をしている。」80%以上	教務・管理職

<定時制>

(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当
ア	自立の心を持った生徒を育てる生活指導とすべてに優先する安心安全な学校作り (ア) 挨拶の励行「挨拶は、人に好かれる魔法の言葉」 (イ) 積極的な交通指導と校内巡視 (ウ) 生徒会活動の活性化 (エ) 学校生活のルール・マナーを徹底 (オ) 施設、設備の安全管理の徹底	・職員による登下校時の交通指導、校内外の巡視による規範意識向上と盗難防止に努める。 ・主体的な生徒会活動の推進。生活マナー改善、交通安全について生徒会委員会による啓発活動を実施する。 ・巡視活動や生活アンケートを通して、生徒動向をきめ細かく把握する。 ・情報交換会により、職員間の情報共有を図る。	・登下校を含む学校生活における重大事故発生0件 ・いじめ、恐喝、窃盗の発生0件 ・「授業・生活アンケート」の主体的行動、生活態度の項目における肯定的自己評価90%以上 ・ソーシャルメディア利用に関する注意喚起（各学期1回以上）	生徒（事務）
イ	基礎基本の定着と自ら学ぶ姿勢の育成 (ア) 生徒一人一人の学力の把握に努め、基礎基本の定着、問題解決を図る姿勢の育成 (イ) 検定取得を推奨 (ウ) 学習支援員等による授業外での学習支援 (エ) 生涯学習の基	・授業改善のための結果のフィードバックを行う。 ・検定取得のための学習機会の設定と受験対策を行う。 ・定期試験に向けて、学習支援員による苦手教科の復習支援を実施する。 ・「基礎力診断テスト」の事前学習の時間を設ける。	・授業アンケート評価10項目全てで肯定的評価95%以上 ・生徒全員が2種以上の検定に受験	教務

	礎作り			
ウ	勤労観と自ら進路を切り拓く力の育成 (ア) ハローワークや地域の関係機関と連携し、キャリア教育を充実 (イ) 地域の人材等を活用し、地域の産業や課題について学ぶ機会を充実 (ウ) 進路行事を4年計画で再編成	・ハローワークと連携し勤労意識の向上を図る。 ・外部機関と連携し、生徒の進路意識及びコミュニケーションスキル、ソーシャルスキルを高めるための進路行事を行う。 ・各学年で進路指導計画に沿った指導を行う。	・進路決定率 100% ・進路行事を年間3回以上実施	進路
エ	家庭・職場・地域から理解、協力を得られる情報発信 (ア) 教育活動の内容や行事についてホームページ（以降、HP）を活用しての情報発信	・HP二次元コードを学校案内等広報物に掲載する。	・HP毎月の更新1回以上	HP管理 教頭
オ	組織力を高め、学校全体として教育に当たる体制の推進 (ア) 組織力を高めるための充実した校内研修の計画立案 (イ) 分かりやすい授業のためのユニバーサルデザインの考え方やICTの活用方法の共有	・定期的な職員研修を通じて、職員が課題と目標を共有し、共通認識を持って業務に当たる。 ・定期的な「情報交換会」や日常的な対話での情報共有を推進する。	・研修内容は適切だったか、意思の共有ができたかについて職員アンケートを行い、肯定的評価90%以上	研修
カ	ワーク・ライフ・バランスを意識した業務の推進 (ア) 教材研究や情報交換の時間の確保 (イ) 休暇取得の推奨 (ウ) 自己研鑽や心身のリフレッシュによる教育効果の向上	・各分掌の会議資料等の簡略化とペーパーレス化を図る。資料のデータ化を進める。 ・長期休業中の休暇取得を促進する。	・夏季休業中の年休取得5日以上、年間10日以上 ・「生徒と向き合う時間」、「指導準備時間」が増えていると感じる教員の割合80%以上	教頭

4 監査対象期間における特色ある取組

<全日制>

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	<p>(1) 「県立高等学校学習支援事業」を継続して実施、生徒の基礎学力の定着を図る。</p> <p>(2) 総合的な探究の時間は、SDGsの探究活動を進めるとともに、自己表現力を育てるため、演劇による発表を行う。</p> <p>(3) 1年生全員が参加する小山町役場でのインターンシップを実施し、キャリア教育の推進を図る。また、小山町と高校生議会を実施し、高校生の地域行政に対する意識を向上させる。</p> <p>(4) 開かれた学校づくりの推進のために一部活動一交流を実施する。</p> <p>(5) 中国との国際交流を推進する。</p> <p>(6) 御殿場特別支援学校小山分校との共生・共育を推進する。</p> <p>(7) 「看護・医療系」「保育系」のコース別進学指導を行う。</p>	<p>(1) 1、2年生の学力に自信のない生徒に対して、定期テスト前に英語のサポート学習を実施した。</p> <p>(2) 1・2年生の縦割りによるグループをつくり、共同研究によりSDGsへの探究を行うとともに演劇制作を行なう取組を行った。共同研究・演劇制作に一人一人が十分に参加できる仕組みの構築が課題である。</p> <p>(3) 12月に小山町の協力により、1年生全員がインターンシップを行うことで地域を理解し、職業観を向上させることができた。また、11月に高校生議会を実施し、小山町に様々な提言を行った。</p> <p>(4) 地域の行事、イベント等への参加、ボランティアや、地域のスポーツ少年団等との交流を行った。</p> <p>(5) 8月に希望する8名の生徒が中国の海寧市を訪問し、現地高校生・大学生と交流した。</p> <p>(6) 学校行事・授業・委員会・部活動・昼食時の交流を実施した。</p> <p>(7) 外部機関と連携した講義・実習や受験指導を行い、コースに参加した全員が希望する分野の上級学校に進学することができた。</p>
令和7年度	<p>(1) 総合的な探究の時間は、SDGsの探究活動を進めるとともに、自己表現力を育てるため、演劇による発表を行う。</p> <p>(2) 1年生全員が参加する小山町役場でのインターンシップを実施し、キャリア教育の推進を図る。また、小山町と高校生議会を実施し、高校生の地域行政に対する意識を向上させる。</p> <p>(3) 開かれた学校づくりの推進のために一部活動一交流を実施する。</p> <p>(4) 中国との国際交流を推進する。</p> <p>(5) 御殿場特別支援学校小山分校との共生・共育を推進する。</p> <p>(6) 「看護・医療系」「保育系」のコース別進学指導を行う。</p>	<p>(1) 共同研究・演劇制作に一人一人が十分に参加できる授業を計画し、実施する。</p> <p>(2) 小山町との連携を密接にし、事前及び事後指導をきめ細やかに行うことにより教育効果を向上させる。また、高校生議会への参加生徒に対する事前指導を綿密に行うことにより、一層の効果をあげられるようにする。</p> <p>(3) 地域の行事、イベント等の予定を踏まえ、各部活動で計画を立てて実施する。</p> <p>(4) 中国海寧市との交流事業を活用し、国際交流を実施する。今年度は海寧市の高校生8名が来日し、本校生徒と交流する。</p> <p>(5) 昨年度の反省を踏まえ、交流の在り方を検討し、実施する。</p> <p>(6) 今年度も外部機関と連携した講義・実習や受験指導を行い、コースに参加した全員が希望する分野の上級学校に進学できることを目指す。</p>

<定時制>

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	<p>(1) 生活指導・安心安全な学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の励行 ・正門での交通指導と校内巡視 ・生徒会活動の活性化 ・学校生活のルール・マナーの徹底 ・施設、設備の安全管理の徹底 <p>(2) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の学力の把握に努め、資格取得(数検、漢検、商業系資格)を推奨 ・県の定時制生徒支援事業を活用し、学習支援員と連携した学習支援 ・年次進行で進む新学習指導要領(令和7年度完成年度)観点別評価のスムーズな運用 <p>(3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年時よりキャリア教育を充実させる ・4年生の進路未決定者をゼロにする 	<p>(1) 生活指導・安心安全な学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員による登下校時の交通指導や校内外の巡視をきめ細かく行い規範意識向上と盗難防止等に努める。 ・生徒が主体となった生徒会活動をより一層推進する。生徒を主軸にすることで、教員の指導とは違った形で、生活マナー改善、交通安全等への自覚を促す。 ・巡視活動や生活アンケートを通して、生徒動向をきめ細かく把握する。また定期的情報交換の場を活用し、職員間の情報共有を図る。 <p>(2) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業・生活アンケート」の有効活用～結果を授業改善のため各教科および各HRで担当教員がフィードバック。 ・県の定時制生徒支援事業の有効活用を行う。具体的には定期試験前に学習に苦手意識を持つ生徒を選抜し、学習支援員が個々の生徒の苦手教科の克服を図る。 ・「基礎力診断テスト」に際して、事前学習の時間を設ける。それにより生徒が本来の実力を発揮できるよう配慮する。 <p>(3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年別、全体で実施する進路指導内容の見直しを継続的に行っている。生徒が主体的に進学および就職に向け具体化できるようにする。 ・地元企業、外部機関と連携を深め、進路行事や企業説明会の内容を充実させる。

年度	取組概要	成果及び課題
令和7年度	<p>(1) 生活指導・安心安全な学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の励行 ・正門での交通指導と校内巡視 ・サイクルマナー教室の実施 ・生徒会活動の活性化 ・学校生活のルール・マナーの徹底 ・施設、設備の安全管理の徹底 <p>(2) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の学力の把握に努め、資格取得(数検、漢検、商業系資格)を推奨 ・県の定時制生徒支援事業を活用し、学習支援員と連携した学習支援 ・年次進行で進む新学習指導要領(令和7年度完成年度)観点別評価のスムーズな運用 <p>(3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年時よりキャリア教育を充実させる ・4年生の進路未決定者をゼロにする ・青年会議所による進路説明会の実施 	<p>(1) 生活指導・安心安全な学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員による登下校時の交通指導や校内外の巡視をきめ細かく行い規範意識向上と盗難防止等に努める。 ・生徒が主体となった生徒会活動をより一層推進する。生徒を主軸にすることで、教員の指導とは違った形で、生活マナー改善、交通安全等への自覚を促す。 ・巡視活動や生活アンケートを通して、生徒動向をきめ細かく把握する。また定期的情報交換の場を活用し、職員間の情報共有を図る。 <p>(2) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業・生活アンケート」の有効活用～結果を授業改善のため各教科および各HRで担当教員がフィードバック。 ・県の定時制生徒支援事業の有効活用を行う。具体的には定期試験前に学習に苦手意識を持つ生徒を選抜し、学習支援員が個々の生徒の苦手教科の克服を図る。 ・「基礎力診断テスト」に際して、事前学習の時間を設ける。それにより生徒が本来の実力を発揮できるよう配慮する。 <p>(3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年別、全体で実施する進路指導内容の見直しを継続的に行っている。生徒が主体的に進学および就職に向け具体化できるようにする。 ・地元企業、外部機関と連携を深め、進路行事や企業説明会の内容を充実させる。

5 教職員について

(1) 令和6年度異動状況

<全日制>

区分	本務職員										臨時職員・非常勤職員 (会計年度任用職員)						合計
	校長	副校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	主査	主任	主事	小計	教諭(臨)	非常勤講師	労務職員 非常勤	A L T	校医等	小計	
転出			1		4					5						0	5
退職										0	3	1	1			5	5
再任用(退職)						1				1						0	1
転入			1		1	1				3						0	3
新任					1					1		1	1			2	3
再任用(新任)					2					2						0	2
差引増減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△3	0	0	0	0	△3	△3

<定時制>

区分	本務職員				臨時職員・非常勤職員 (会計年度任用職員)				合計
	教頭	教諭	養護教諭	小計	教諭(臨)	養護教諭(臨)	非常勤講師	小計	
転出	1	1	1	3				0	3
退職		1		1				0	1
転入		1		1	1			1	2
新任	1			1		1		1	2
差引増減	0	△1	△1	△2	1	1	0	2	0

(2) 現員数

<全日制>

(令和7年6月30日現在)

区分	本務職員										臨時職員 非常勤職員(会計年度任用職員)							合計
	校長	副校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	実習助手	主任	主事	小計	教諭(臨)	A L T	非常勤講師	部活動指導員	非常勤労務職員	校医等	小計	
計	1	1	1	1	21	1	1	1	1	29	1	1	10	2	3	5	22	51

<定時制>

(令和7年6月30日現在)

区分	本務職員				臨時職員 非常勤職員(会計年度任用職員)				合計
	教頭	教諭	主任	小計	教諭(臨)	養護教諭(臨)	非常勤講師	小計	
計	1	8	1	10	1	1	3	5	15

(3) 健康管理について

教職員健康診断における再検査該当者に対しては、専門医の検査等を指示するとともに、治療が必要な教職員の健康管理を行った。また、職員安全衛生委員会を健康管理医の指導により実施し、職場環境の改善に努めた。

(4) 教職員の研修について

<全日制>

	令和6年度	令和7年度
目的	今年度から御殿場特別支援学校小山分校が併設されたことから、多様性を重視した人間関係を築くことの大切さを教える能力の向上をめざす必要がある。	定員が1学年80人に減となり、また、中北駿地区の公立高校の再編が決定されたことを踏まえた本校のスクールポリシーの具現化の取組について研修を実施する。
研修内容及び成果	本校の生徒と小山分校の生徒との昼食会に教職員も加わることにより、本校生徒への支援とともに共生への理解を深めることができた。また、本校の支援が必要と思われる生徒への対応について、日常的に小山分校の教員に相談できる関係が生まれた。	6月の県総合教育センター指導主事定期訪問の全体研修、10月の県総合教育センター学校等支援研修を活用し、本校のスクールポリシーの具現化について理解を深め、1月に1年間の取組を振り返る研修を実施する。
課題	7時間目まで授業がある日が2日あり、また、放課後に様々な業務や県教委からの要請による研修を行う中で、全体研修を計画的に進めることが難しかった。	

<定時制>

	令和6年度	令和7年度
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領が学年進行で適用され、令和7年度が完成年度となる。各教科で観点別評価等の研究・見直しを進める。 ・県からの資料等を活用し、不祥事根絶研修を定期的に行う。 ・多様な事情(家庭環境、特別支援教育系等)を持った生徒の理解を教員間で深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領が学年進行で適用され、今年度が完成年度となる。各教科で観点別評価等を完成させる。 ・県からの資料等を活用し、不祥事根絶研修を定期的に行う。 ・多様な事情(家庭環境、特別支援教育系等)を持った生徒の理解を教員間で深める。

	令和6年度	令和7年度
研修の内容及び結果	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の「研修の日」を通じて、職員同士で課題と目標を共有し、共通認識を持って業務に当たる。 ・定期的な「情報交換会（主目的：生徒の生活指導上の課題解決、生徒個々の学習への取組の様子、また学習支援を必要とする生徒の進捗確認）」の開催で、教員間の生徒に関する情報共有を推進する。 ・継続的に行っている観点別評価の研究を継続する。完成年度に向けて、適宜修正しながら、運用していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の「研修の日」を通じて、職員同士で課題と目標を共有し、共通認識を持って業務に当たる。 ・定期的な「情報交換会（主目的：生徒の生活指導上の課題解決、生徒個々の学習への取組の様子、また学習支援を必要とする生徒の進捗確認）」の開催で、教員間の情報共有を推進する。 ・継続的に行っている観点別評価の研究を継続し、運用していく。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別評価に関しては生徒の実態に即した基準作りが難しいが、方向性は固められた。 ・多様化する生徒への“指導と支援”のバランスのとり方に対する共通認識。 	

6 防災対策について

<全日制>

	令和6年度	令和7年度
目的	継続的に防災対策に取り組むことにより、防災管理の徹底と、防災意識の定着を図る。	継続的に防災対策に取り組むことにより、防災管理の徹底と、防災意識の定着を図る。
研修の内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・危険等発生時対処要領(学校危機管理マニュアル)作成(4月) 【災害安全】南海トラフ地震、火山災害、台風、Jアラート対応等、【生活安全】熱中症、食物アレルギー等、【交通安全】交通事故等、総合防災計画の内容について全面的な見直しを行った。南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」発令の際、防災倉庫内の備蓄品の確認と消火器等設備の点検を行った。 ・校内での防災訓練 情報伝達訓練を含め、4月と8月に全校防災訓練、12月に防災講話を行った。 ・地域との連携 11月に中学校区連絡会議に教頭が出席した。小山町と災害電話の設置や備蓄品の保管などについて確認をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険等発生時対処要領(学校危機管理マニュアル)作成(4月) 【災害安全】南海トラフ地震、火山災害、台風、Jアラート対応等、【生活安全】熱中症、食物アレルギー等、【交通安全】交通事故等、総合防災計画の内容について全面的な見直しを行う。防災倉庫内の備蓄品の確認と消火器等設備の点検を行う。 ・校内での防災訓練 情報伝達訓練を含め、4月と8月に全校防災訓練、12月に防災講話を行う。 ・地域との連携 11月に中学校区連絡会議に教頭が出席する。小山町と災害電話の設置や備蓄品の保管などについて調整する。また、地域防災訓練参加のための周知を図る。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・荒天時の対応について、実態に合わせて検討する必要がある。 	

< 定時制 >

	令和6年度	令和7年度
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に対する意識を啓発し、学校での避難行動や対応行動が円滑に行えることを目指す。 ・地域防災活動の意義を学ぶことにより、自らが住む地域を守るという自覚を醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に対する意識を啓発し、学校での避難行動や対応行動が円滑に行えることを目指す。 ・地域防災活動の意義を学ぶことにより、自らが住む地域を守るという自覚を醸成する。
研修の内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・4月：「学校安全計画書」の作成 ・5月：夜間、照明を消した状態（停電を想定）での防災訓練（避難訓練）の実施 ・8月：避難訓練を実施（校内ハザードマップの作成） ・12月：消防署に依頼し、防災講座を実施 ※年度当初、生徒、教職員に収納式ヘルメットを配布。5月の訓練で使用した。	<ul style="list-style-type: none"> ・4月：「学校安全計画書」の作成 ・5月：夜間、照明を消した状態（停電を想定）での防災訓練（避難訓練）の実施 ・8月：避難訓練を実施予定（内容検討中） ・12月：消防署に依頼し、防災講座を実施 ※年度当初、生徒、教職員に収納式ヘルメットを配布。5月の訓練で使用した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間という特殊な状況における、生徒の安全確保。 ・災害が長期化した場合に備えた対応（オンラインでの授業展開を想定した準備も含めて）の検討。 ・地域防災に関する上記目的に対し、地域で実施される避難訓練への生徒の参加率が低い。そうした部分をどのように克服するか。 	/

7 学校開放について

令和6年度

施設名	利用種目	延利用日数	延利用者数	利用者負担金 (電気料)	備考
グラウンド	野球練習	20日	1,140人	0円	
教室	模試、資格試験	74日	3,276人	10,786円	
体育館	地区球技大会 こども園運動会	2日	400人	0円	

令和7年度（令和7年6月30日現在）

施設名	利用種目	延利用日数	延利用者数	利用者負担金 (電気料)	備考
教室	模試、資格試験	25日	602人	0円	
体育館	地区球技大会	1日	100人	0円	

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関すること	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、 第52条、第53条、第60条、第61条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令
2 学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） いじめ防止対策推進法（第8条） 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律（第3条、第4条、第5条） 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校定時制の課程及び通信制の課程修学補助金交付要綱 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 社会教育法（第43条、第45条、第47条）

□□□□

学 校 施 設 の 概 要

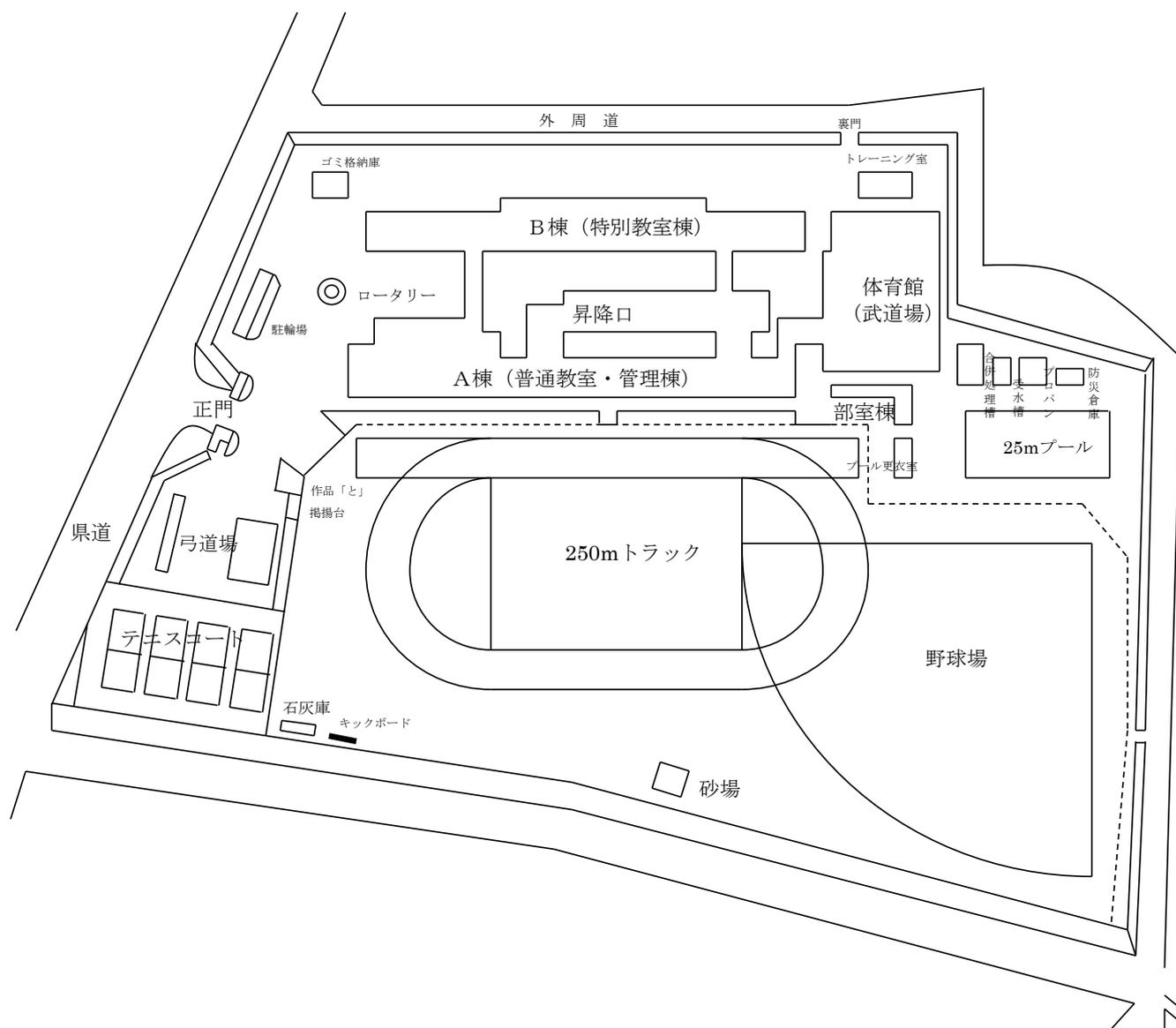
1 面積及び所有区分

(令和7年6月30日現在)

区 分	面 積 <small>m²</small>	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 <small>m²</small>	国 有 <small>m²</small>	市 町 村 有 <small>m²</small>	後 援 会 有 <small>m²</small>	民 有 <small>m²</small>	
学 校 敷 地	40,354.88	40,354.88					
内 訳	校 舎 敷 地	18,333.00	18,333.00				
	運 動 場 敷 地	20,612.00	20,612.00				
	そ の 他 の 敷 地	1,409.88	1,409.88				
校 舎	建 3,265.05 延 8,410.79	建 3,265.05 延 8,410.79					
体 育 館	建 1,393.13 延 2,774.10	建 1,393.13 延 2,774.10					
そ の 他 の 建 物	建 806.26 延 1,043.15	建 505.76 延 742.65			建 300.50 延 300.50		弓道場 300.50m ²
プ ー ル	1	1					25m×8コース

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等 (法面・演習林等を除く)

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	40,354.88㎡	8,410.79㎡	20,612.00㎡
県平均	45,574.48㎡	9,782.41㎡	22,506.84㎡

□□□□

在 籍 生 徒 調

(令和7年6月30日現在)

学年	学科別 区分		全 日 制 普 通 科				定 時 制 普 通 科			
			定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
1年	入 学 者		80	37	47	84	40	4	5	9
	増 加 減 少									
	現 在			37	47	84		4	5	9
2年	入 学 者		120	59	65	124	40	7	1	8
	増 加 減 少				1	1		4		4
	2年時当初			59	64	123		3	1	4
	増 加 減 少								1	1
	現 在			59	64	123		3	2	5
3年	入 学 者		120	56	60	116	40	6	2	8
	増 加 減 少			3	1	4		1		1
	2年時当初			53	59	112		5	2	7
	増 加 減 少				1	1		1	1	2
	3年時当初			53	58	111		4	1	5
	増 加 減 少									
	現 在			53	58	111		4	1	5
4年	入 学 者						40	5	3	8
	増 加 減 少							1		1
	2年時当初							4	3	7
	増 加 減 少								1	1
	3年時当初							4	4	8
	増 加 減 少 減少(3修卒)									
	4年時当初							4	4	8
	増 加 減 少									
	現 在							4	4	8
合 計			149	169	318		15	12	27	

□□□□

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学 科 別		全日制普通科	全日制普通科	全日制普通科	全日制普通科	全日制普通科
生徒定員(A)		120	120	120	120	80
募集者数(B)		120	120	120	120	80
志願者数	男	48 (0)	40 (0)	56 (0)	68 (0)	42 (0)
	女	50 (0)	68 (0)	60 (0)	68 (0)	50 (0)
	計(C)	98 (0)	108 (0)	116 (0)	136 (0)	92 (0)
受検者数	男	47 (0)	40 (0)	56 (0)	68 (0)	41 (0)
	女	50 (0)	68 (0)	60 (0)	68 (0)	50 (0)
	計(D)	97 (0)	108 (0)	116 (0)	136 (0)	91 (0)
合格者数	男	47 (0)	40 (0)	56 (0)	60 (0)	37 (0)
	女	50 (0)	68 (0)	60 (0)	65 (0)	47 (0)
	計(E)	97 (0)	108 (0)	116 (0)	125 (0)	84 (0)
志願倍率(C)/(B)		0.82	0.90	0.97	1.13	1.15
受検倍率(D)/(B)		0.81	0.90	0.97	1.13	1.14
入学者数	男	47	40	56	59	37
	女	50	68	60	65	47
	計(F)	97	108	116	124	84
充足率(F)/(A)		0.81	0.90	0.97	1.03	1.05

□□□□

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学 科 別		定時制普通科	定時制普通科	定時制普通科	定時制普通科	定時制普通科
生徒定員(A)		40	40	40	40	40
募集者数(B)		40	40	40	40	40
志願者数	男	5 (1)	4 (1)	6 (0)	7 (1)	4 (1)
	女	3 (0)	3 (0)	2 (0)	2 (0)	6 (0)
	計(C)	8 (1)	7 (1)	8 (0)	9 (1)	10 (1)
受検者数	男	5 (1)	4 (1)	6 (0)	6 (1)	4 (1)
	女	3 (0)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	6 (0)
	計(D)	8 (1)	7 (1)	8 (0)	7 (1)	10 (1)
合格者数	男	5 (1)	4 (1)	6 (0)	6 (1)	3 (1)
	女	3 (0)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	5 (0)
	計(E)	8 (1)	7 (1)	8 (0)	7 (1)	8 (1)
志願倍率(C)/(B)		0.20	0.18	0.20	0.23	0.25
受検倍率(D)/(B)		0.20	0.18	0.20	0.18	0.25
入学者数	男	6	5	6	7	4
	女	3	3	2	1	5
	計(F)	9	8	8	8	9
充足率(F)/(A)		0.23	0.20	0.20	0.20	0.23

卒業生の動向調

1 進路状況

学科別		全日制普通科			定時制普通科			(計)			
年度		4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	
卒業生徒数		120	93	107	8	2	8	128	95	115	
内 訳	(進学志願者)	111	81	103	4	0	3	115	81	106	
	進 学 者	大学・短大	65	56	72	1	0	1	66	56	73
		専修・各種学校等	45	24	30	1	0	2	46	24	32
		小計	110	80	102	2	0	3	112	80	105
	就職者	9	10	3	4	2	4	13	12	7	
	自営者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	進学準備者	1	1	2	1	0	1	2	1	3	
	その他	0	2	0	1	0	0	1	2	0	
合計		120	93	107	8	2	8	128	95	115	

2 求人状況 (全日制のみ)

区分	4年度	5年度	6年度
就職希望者数	4	4	3
求人数	515	513	601
求人倍率	128.8	128.3	200.3

3 資格取得状況

(6年度)

学科別		全日制普通科	定時制普通科	(計)
卒業生徒数		107	8	115
資 格 の 取 得 状 況	日本漢字能力検定2級	1	0	1
	日本漢字能力検定準2級	9	2	11
	日本漢字能力検定3級	2	1	3
	実用英語技能検定2級	12	0	12
	実用英語技能検定準2級	16	0	16
	全国商業高等学校協会 英語検定3級	0	2	2
	全国商業高等学校協会 情報処理検定3級	0	4	4
	日本情報処理検定協会 情報処理検定3級	0	1	1
	全国商業高等学校協会 簿記検定3級	0	1	1
	実用数学技能検定2級	2	0	2
合計		42	11	53

□□□□

生 徒 の 状 況

1 生徒の出身地域および通学方法

(1) 出身地

(全日制) (令和7年6月30日現在) (単位:人)

市町名	小山町	御殿場市	裾野市	その他	合計
生徒数	60	240	18	0	318
構成比%	18.9	75.4	5.7	0.0	100.0

(定時制)

市町名	小山町	御殿場市	その他	合計
生徒数	12	15	0	27
構成比%	44.4	55.6	0.0	100.0

(2) 通学方法

(全日制) (令和7年6月30日現在) (単位:人)

区 分	自転車	交通機関	徒歩	その他	合計
生徒数	103	128	3	84	318
構成比%	32.4	40.3	0.9	26.4	100.0

(定時制)

区 分	自転車	オートバイ	自家用車	交通機関	その他	合計
生徒数	4	3	6	1	13	27
構成比%	14.8	11.1	22.3	3.7	48.1	100.0

(3) 生徒の年齢

(定時制) (令和7年6月30日現在) (単位:人)

区分	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳超	計
1年	8	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	9
2年	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
3年	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	5
4年	0	0	0	7	0	1	0	0	0	0	0	8
計	8	4	5	7	0	2	0	0	0	0	1	27

(4) 生徒の就業状況

(定時制) (令和7年6月30日現在) (単位:人)

区分	建設	製造	卸小売	サービス業	各種学校	その他	無職	計
1年	0	0	0	4	0	0	5	9
2年	0	0	0	3	0	2	0	5
3年	0	0	0	5	0	0	0	5
4年	0	1	0	2	0	1	4	8
計	0	1	0	14	0	3	9	27

2 部(クラブ)の加入状況

(全日制)

(令和7年6月30日現在)

(単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		7	2		9
男子	1年	32	1	4	37
	2年	40	18	1	59
	3年	40	11	2	53
	計(A)	112	30	7	149
	構成比	75.2	20.1	4.7	100.0
女子	1年	27	18	2	47
	2年	28	33	3	64
	3年	32	17	9	58
	計(B)	87	68	14	169
	構成比	51.5	40.2	8.3	100.0
(A+B)		199	98	21	318
合計	構成比	62.6	30.8	6.6	100.0

(定時制)

(令和7年6月30日現在)

(単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		4	0		4
男子	1年	0	0	4	4
	2年	0	0	3	3
	3年	0	0	4	4
	4年	0	0	4	4
	計(A)	0	0	15	15
	構成比	0.0	0.0	100.0	100.0
女子	1年	0	0	5	5
	2年	0	0	2	2
	3年	0	0	1	1
	4年	0	0	4	4
	計(B)	0	0	12	12
	構成比	0.0	0.0	100.0	100.0
(A+B)		0	0	27	27
合計	構成比	0.0	0.0	100.0	100.0

□□□□

授業料収納状況調

(令和6年度)

(全日制)														
期月別	調定の状況								収納状況			異動者等の状況		
	1年		2年		3年		計		納期内収納額	納期後	収入未済額			
別	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	円	%	円	円		
一期	4												A. 期首収納権利発生額 = 1,811,700 円 (1年 18人 × 9,900 円 × 3月) (2年 20人 × 9,900 円 × 3月) (3年 23人 × 9,900 円 × 3月) B. 収納権利増減(▲)額 = 0 円 C. 収納必要額A(±)B = 1,811,700 円	
	5													
	6													
	7	18	534,600	20	594,000	23	683,100	61	1,811,700	1,752,300	96.7	0		59,400
	8											59,400		0
	計	18	534,600	20	594,000	23	683,100	61	1,811,700	1,752,300	96.7	59,400		0
	合計	18	534,600	20	594,000	23	683,100	61	1,811,700	1,752,300	96.7	59,400		0
二期	7												A. 期首収納権利発生額 = 3,712,500 円 (1年 31人 × 9,900 円 × 5月) (2年 18人 × 9,900 円 × 5月) (3年 26人 × 9,900 円 × 5月) B. 収納権利増減(▲)額 = 0 円 C. 収納必要額A(±)B = 3,712,500 円	
	8													
	9													
	10	31	1,534,500	18	891,000	26	1,287,000	75	3,712,500	3,613,500	97.3	0		99,000
	11											99,000		0
	計	31	1,534,500	18	891,000	26	1,287,000	75	3,712,500	3,613,500	97.3	99,000		0
	合計	31	1,534,500	18	891,000	26	1,287,000	75	3,712,500	3,613,500	97.3	99,000		0
三期	12												A. 期首収納権利発生額 = 2,970,000 円 (1年 31人 × 9,900 円 × 4月) (2年 18人 × 9,900 円 × 4月) (3年 26人 × 9,900 円 × 4月) B. 収納権利増減(▲)額 = 0 円 C. 収納必要額A(±)B = 2,970,000 円	
	1	31	1,227,600	18	712,800	26	1,029,600	75	2,970,000	2,970,000	100.0			
	2													
	3													
	計	31	1,227,600	18	712,800	26	1,029,600	75	2,970,000	2,970,000	100.0			0
合計	80	3,296,700	56	2,197,800	75	2,999,700	211	8,494,200	8,335,800	98.1	158,400	0	D. 収納必要額 = 8,494,200 円	

□□□□

授業料収納状況調

(令和7年度)
(令和7年6月30日現在)

(全日制)														
期月別	調定の状況								収納状況			異動者等の状況		
	1年		2年		3年		計		納期内収納額	納期後	収入未済額			
別	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	円	%	円	円		
一期	4												A. 期首収納権利発生額 = 1,930,500 円 (1年 16人 × 9,900 円 × 3月) (2年 31人 × 9,900 円 × 3月) (3年 18人 × 9,900 円 × 3月) B. 収納権利増減(▲)額 = 0 円 C. 収納必要額A(±)B = 1,930,500 円	
	5													
	6													
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
二期	7												A. 期首収納権利発生額 = 0 円 B. 収納権利増減(▲)額 = 0 円 C. 収納必要額A(±)B = 0 円	
	8													
	9													
	10													
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
三期	12												A. 期首収納権利発生額 = 0 円 B. 収納権利増減(▲)額 = 0 円 C. 収納必要額A(±)B = 0 円	
	1													
	2													
	3													
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	D. 収納必要額 = 1,930,500 円	

□□□□

授業料収納状況調

(令和6年度)

(定時制)

期別	月別	調定の状況								収納状況				異動者等の状況		
		1年		2年		3年		4年		計		納期内	納期後		収入	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	円	%	円	円	
一期	4															A. 期首収納権利発生額 = 8,100 円 (3年 1人 × 2,700 円 × 3月) B. 収納権利増減(▲)額 = 0 円 C. 収納必要額A(±)B = 8,100 円
	5															
	6															
	7					1	8,100			1	8,100	8,100	100.0%	0	0	
	計	0	0	0	0	1	8,100	0	0	1	8,100	8,100	100.0%	0	0	
二期	7															A. 期首収納権利発生額 = 27,000 円 (1年 1人 × 2,700 円 × 5月) (3年 1人 × 2,700 円 × 5月) B. 収納権利増減(▲)額 = 0 円 C. 収納必要額A(±)B = 27,000 円
	8															
	9															
	10	1	13,500			1	13,500			2	27,000	13,500	50.0%	0	13,500	
	計	1	13,500	0	0	1	13,500	0	0	2	27,000	13,500	50.0%	13,500	0	
三期	12															A. 期首収納権利発生額 = 21,600 円 (1年 1人 × 2,700 円 × 4月) (3年 1人 × 2,700 円 × 4月) B. 収納権利増減(▲)額 = 0 円 C. 収納必要額A(±)B = 21,600 円
	1	1	10,800			1	10,800			2	21,600	10,800	50.0%	0	10,800	
	2													10,800	0	
	3															
	計	1	10,800	0	0	1	10,800	0	0	2	21,600	10,800	50.0%	10,800	0	
合計	2	24,300	0	0	3	32,400	0	0	5	56,700	32,400	57.1%	24,300	0	D. 収納必要額 = 56,700 円	

□□□□

授業料収納状況調

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

(定時制)

期別	月別	調定の状況								収納状況				異動者等の状況		
		1年		2年		3年		4年		計		納期内	納期後		収入	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	円	%	円	円	
一期	4															A. 期首収納権利発生額 = 16,200 円 (2年 1人 × 2,700 円 × 3月) (4年 1人 × 2,700 円 × 3月) B. 収納権利増減(▲)額 = 0 円 C. 収納必要額A(±)B = 16,200 円
	5															
	6															
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
二期	7															A. 期首収納権利発生額 = 0 円 B. 収納権利増減(▲)額 = 0 円 C. 収納必要額A(±)B = 0 円
	8															
	9															
	10															
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
三期	12															A. 期首収納権利発生額 = 0 円 B. 収納権利増減(▲)額 = 0 円 C. 収納必要額A(±)B = 0 円
	1															
	2															
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D. 収納必要額 = 16,200 円	

□□□□

職 員 調

全日制

(令和7年6月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	櫻井 教文		□□□□	□年□月	□□□□
2	副校長	小柳出 賢治		□□□□	□.□	□□□□
3	教頭	吉村 順	地歴公民	□□□□	□.□	□□□□
4	事務長	田口 さおり	事務総括	□□□□	□.□	□□□□
5	教諭	白鳥 真利	保健体育	□□□□	□.□	□□□□
6	教諭	鈴木 盛文	数学・情報	□□□□	□.□	□□□□
7	教諭	關野 祐一	保健体育	□□□□	□.□	□□□□
8	教諭	勝又 新治	数学	□□□□	□.□	□□□□
9	教諭	福島 敬子	英語	□□□□	□.□	□□□□
10	教諭	内藤 智彦	数学	□□□□	□.□	□□□□
11	教諭	嶋 諭志	英語	□□□□	□.□	□□□□
12	教諭	美那川 雄一	地歴公民	□□□□	□.□	□□□□
13	教諭	勝亦 志保	地歴公民	□□□□	□.□	□□□□
14	教諭	内藤 有紀	保健体育	□□□□	□.□	□□□□
15	教諭	勝又 瑞恵	英語	□□□□	□.□	□□□□
16	教諭	井上 実奈子	保健体育	□□□□	□.□	□□□□
17	教諭	白井 竜治	数学	□□□□	□.□	□□□□
18	教諭	長尾 亮祐	理科	□□□□	□.□	□□□□
19	教諭	坂口 麗美	英語	□□□□	□.□	□□□□
20	教諭	難波 佑気	国語	□□□□	□.□	□□□□
21	教諭	長野 沙希	国語	□□□□	□.□	□□□□
22	教諭	山梨 菜摘	国語	□□□□	□.□	□□□□
23	教諭	大瀧 実咲	国語	□□□□	□.□	□□□□
24	教諭	石塚 皓生	地歴公民	□□□□	□.□	□□□□
25	教諭	藤原 駿	理科	□□□□	□.□	□□□□
26	養護教諭	小沼 果歩	養護	□□□□	□.□	□□□□
27	実習助手	清水 由佳	理科	□□□□	□.□	□□□□
28	主任	岩崎 肇		□□□□	□.□	□□□□
29	主事	林 宏輝		□□□□	□.□	□□□□
平均年数					3年3月	

定時制

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
30	教 頭	櫻 井 大 輔	保健体育	□□□□	□ . □	□□□□
31	教 諭	田 畑 彰 三	国語	□□□□	□ . □	□□□□
32	教 諭	坂 東 廣 一	数学	□□□□	□ . □	□□□□
33	教 諭	木 南 知 之	商業	□□□□	□ . □	□□□□
34	教 諭	細 谷 摩 美	英語	□□□□	□ . □	□□□□
35	教 諭	高 橋 有 輝		□□□□	□ . □	□□□□
36	教 諭	勝 又 健 太	保健体育	□□□□	□ . □	□□□□
37	教 諭	湯 山 二 奈	国語	□□□□	□ . □	□□□□
38	教 諭	玉 城 大 梧	地歴公民	□□□□	□ . □	□□□□
39	主 任	斉 藤 成 永		□□□□	□ . □	□□□□
平均年数					3 年 0 月	

□□□□

職 員 調

臨時職員・会計年度任用職員・学校医・薬剤師等(全日制)

(令和7年6月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(臨)	森田昌明	国語	□□□□	□ . □	□□□□
2	外国語指導講師	ファニー ナランホ		□□□□	□ . □	□□□□
3	非常勤講師	杉山奈央	国語・書道	□□□□	□ . □	□□□□
4	非常勤講師	今村翔人	数学	□□□□	□ . □	□□□□
5	非常勤講師	小林建	理科	□□□□	□ . □	□□□□
6	非常勤講師	土屋英俊	理科	□□□□	□ . □	□□□□
7	非常勤講師	滝口兼光	保健体育	□□□□	□ . □	□□□□
8	非常勤講師	釘宮英明	英語	□□□□	□ . □	□□□□
9	非常勤講師	土屋孝子	美術	□□□□	□ . □	□□□□
10	非常勤講師	藤江こまち	音楽	□□□□	□ . □	□□□□
11	非常勤講師	齋藤喜久美	家庭	□□□□	□ . □	□□□□
12	非常勤講師	村河清美	家庭	□□□□	□ . □	□□□□
13	部活動指導員	富高璃音		□□□□	□ . □	□□□□
14	部活動指導員	叶内正彦		□□□□	□ . □	□□□□
15	非常勤労務職員	杉山昭		□□□□	□ . □	□□□□
16	非常勤労務職員	渡邊高志		□□□□	□ . □	□□□□
17	非常勤労務職員・嘱託員	鈴木美奈子		□□□□	□ . □	□□□□
18	学校医	岩田祥吾	内科	□□□□	□ . □	□□□□
19	学校医	石川昭	眼科	□□□□	□ . □	□□□□
20	学校医	齋藤彰治	耳鼻科	□□□□	□ . □	□□□□
21	学校医	小野将之	歯科	□□□□	□ . □	□□□□
22	薬剤師	杉山博昭	薬剤師	□□□□	□ . □	□□□□

臨時職員・会計年度任用職員(定時制)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(臨)	本間博	理科	□□□□	□ . □	□□□□
2	養護教諭(臨)	佐々木美智代	養護	□□□□	□ . □	□□□□
3	非常勤講師	土屋孝子	美術	□□□□	□ . □	□□□□
4	非常勤講師	杉山奈央	書道	□□□□	□ . □	□□□□
5	非常勤講師	村河清美	家庭	□□□□	□ . □	□□□□

□□□□

職員の年齢調

全日制

(令和7年6月30日現在)

年 齢	人員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上 30歳未満	5人	
30歳以上 40歳未満	8人	
40歳以上 50歳未満	4人	
50歳以上 56歳未満	3人	
56歳以上 61歳未満	5人	
61歳以上	4人	□□□□
計	29人	平均年齢 44.6歳

定時制

年 齢	人員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上 30歳未満	1人	
30歳以上 40歳未満	5人	
40歳以上 50歳未満	1人	
50歳以上 56歳未満	1人	
56歳以上 61歳未満	1人	
61歳以上	1人	□□□□
計	10人	平均年齢 40.9歳

□□□□

健 康 管 理

1 令和6年度受診状況

区分	内容	
受診状況	受診者数	39人
	職員数	40人
受診率	100 %	
県平均受診率	100 %	

(1) 未受診の理由

□□□□

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健康管理区分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人(人)
B1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療	人(人)
B2		要経過観察	人(人)
C1	勤務をほぼ平常に行っておりが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療	1人(1人)
C2		要経過観察	人(人)
D1	平常の勤務でよい。	要治療	7人(7人)
D2		要経過観察	15人(15人)
D3		医療不要	13人(13人)
区 分 者 計			36人(36人)
未 区 分 者 数			3人
合 計			39人

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況

□□□□

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 □人

イ 新規採用 □人

ウ 自己都合による未受診 □人

エ その他(再任用) □人

□□□□

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 済 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
	円	円	円
款 08使用料及び手数料	42,391,900	42,209,200	182,700
項 01使用料	41,658,000	41,475,300	182,700
目 09教育使用料	41,658,000	41,475,300	182,700
02全日制高等学校授業料	40,708,800	40,550,400	158,400
03定時制高等学校授業料	947,700	923,400	24,300
08庁舎等使用料	1,500	1,500	0
項 02手数料	733,900	733,900	0
目 07教育手数料	733,900	733,900	0
01高等学校入学料	717,400	717,400	0
02証明書発行手数料	16,500	16,500	0
款 10財産収入	1,111,550	1,106,875	4,675
項 01財産運用収入	1,104,400	1,104,400	0
目 01財産貸付収入	1,104,400	1,104,400	0
02土地貸付料	497,200	497,200	0
03建物貸付料	607,200	607,200	0
項 02財産売払収入	7,150	2,475	4,675
目 02物品売払収入	7,150	2,475	4,675
01不用品売払収入	7,150	2,475	4,675
備品	7,150	2,475	4,675
款 14諸収入	906,145	906,145	0
項 07雑入	906,145	906,145	0
目 02雑入	906,145	906,145	0
87保険料負担金	679,904	679,904	0
保険料負担金	573,202	573,202	0
非常勤職員	71,932	71,932	0
臨時職員	34,770	34,770	0

□□□□

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 済 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
90雑収	円 226,241	円 226,241	円 0
雑収	221,841	221,841	0
古新聞・雑誌	4,400	4,400	0
計	44,409,595	44,222,220	187,375

(令和 6年度)

不納欠損額 D	収入未済額			収入歩合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納期内収入率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納期限経過E	納期限未到来F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	99.5

□□□□

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 済 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
	円	円	円
款 08使用料及び手数料	501,900	501,900	0
項 01使用料	1,500	1,500	0
目 10教育使用料	1,500	1,500	0
08庁舎等使用料	1,500	1,500	0
項 02手数料	500,400	500,400	0
目 09教育手数料	500,400	500,400	0
01高等学校入学料	495,600	495,600	0
02証明書発行手数料	4,800	4,800	0
款 10財産収入	1,264,175	1,264,175	0
項 01財産運用収入	1,254,000	1,254,000	0
目 01財産貸付収入	1,254,000	1,254,000	0
02土地貸付料	704,000	704,000	0
03建物貸付料	550,000	550,000	0
項 02財産売払収入	10,175	10,175	0
目 02物品売払収入	10,175	10,175	0
01不用品売払収入	10,175	10,175	0
備品	10,175	10,175	0
款 14諸収入	173,046	170,041	3,005
項 07雑入	173,046	170,041	3,005
目 02雑入	173,046	170,041	3,005
90保険料負担金	144,922	144,922	0
保険料負担金	129,685	129,685	0
非常勤職員	15,237	15,237	0
92過年度返納金	122	122	0
93雑収	28,002	24,997	3,005
計	1,939,121	1,936,116	3,005

□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和 6 年度	令和 7 年度 令和 7 年 6 月 30 日現在
	件 数	件 数
県立高等学校入学検定料	105	0

□□□□

現金出納調

小山高等学校

(令和 6年度)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 733,900	円 733,900	円 733,900	円 0	円 733,900 176 枚	円 733,900 45 枚
計	0	733,900	733,900	733,900	0	733,900 176 枚	733,900 45 枚

□□□□

現金出納調

小山高等学校

(令和 7年度)

(令和 7年 6月30日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 500,400	円 500,400	円 500,400	円 0	円 500,400 110 枚	円 500,400 18 枚
計	0	500,400	500,400	500,400	0	500,400 110 枚	500,400 18 枚

□□□□

預 金 調

(令和7年6月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘 要
スルガ銀行 小山支店	無利息型普通預金	230058	静岡県立小山高等学校 資金前渡者 櫻井 教文	0	職員給与用 払込書による 支払用
スルガ銀行 小山支店	無利息型普通預金	210421	自振口 小山高等学校 資金前渡者 櫻井 教文	0	公共料金振替用
残 高 合 計				0	

□□□□

郵 券 等 受 払 調

(令和7年6月30日現在)
(単位：枚、円)

区 分	種 類	6 年 度						7 年 度						差引現在高	摘 要	
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出				
		枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額			枚数
郵券	85円券	0	0	47	3,995	45	3,825	2	170	0	0	0	0	2	170	文書発送用
計		/	0	47	3,995	45	3,825	2	170	/	0	/	0	2	170	

□□□□

歳入歳出外現金調

県立高校中学校 小山高校

(令和 6年度)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 448,877	円 448,877	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	30,466	30,466	0	
所得税	20,647	383,903	379,401	25,149	
縣市町村民税	4,000	46,400	46,800	3,600	
保証金	110,440	125,400	0	235,840	
計	135,087	1,035,046	905,544	264,589	

□□□□

歳入歳出外現金調

県立高校中学校 小山高校

(令和 7年度)
(令和 7年 6月30日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 124,153	円 96,687	円 27,466	
教職員互助組合掛金等	0	5,495	5,495	0	
所得税	25,149	141,532	98,300	68,381	
縣市町村民税	3,600	26,500	10,800	19,300	
保証金	235,840	0	110,440	125,400	
計	264,589	297,680	321,722	240,547	

歳出予算執行状況調

(令和 6年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	86,081,262	86,081,262	0	
項 02 教育委員会費	5,684,996	5,684,996	0	
目 02 教育総務費	19,664	19,664	0	
01 報酬	19,664	19,664	0	
03 非常勤職員報酬	19,664	19,664	0	
目 03 教育管理費	5,545,332	5,545,332	0	
07 報償費	20,000	20,000	0	
01 その他の報償費	20,000	20,000	0	
08 旅費	28,062	28,062	0	
01 その他の旅費	0	0	0	
02 普通旅費	28,062	28,062	0	
10 需用費	2,400,000	2,400,000	0	
01 その他の需用費	2,400,000	2,400,000	0	
12 委託料	1,018,270	1,018,270	0	
14 工事請負費	2,079,000	2,079,000	0	
目 04 教育厚生費	120,000	120,000	0	
01 報酬	120,000	120,000	0	
03 非常勤職員報酬	120,000	120,000	0	
項 05 高等学校費	73,794,628	73,794,628	0	
目 01 高等学校総務費	19,977,809	19,977,809	0	
01 報酬	12,106,169	12,106,169	0	
03 非常勤職員報酬	12,106,169	12,106,169	0	
03 職員手当等	3,205,685	3,205,685	0	
01 その他の職員手当等	3,205,685	3,205,685	0	
04 共済費	3,333,223	3,333,223	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,333,223	3,333,223	0	
08 旅費	1,332,732	1,332,732	0	
01 その他の旅費	978,904	978,904	0	

□□□□

(令和 6年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
02 普通旅費	353,828	353,828	0	
目 02 高等学校管理費	53,816,819	53,816,819	0	
01 報酬	1,245,840	1,245,840	0	
03 非常勤職員報酬	1,245,840	1,245,840	0	
04 共済費	743	743	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	743	743	0	
07 報償費	0	0	0	
01 その他の報償費	0	0	0	
08 旅費	3,307,686	3,307,686	0	
01 その他の旅費	41,653	41,653	0	
02 普通旅費	3,266,033	3,266,033	0	
10 需用費	9,211,486	9,211,486	0	
01 その他の需用費	9,211,486	9,211,486	0	
11 役務費	1,099,393	1,099,393	0	
12 委託料	532,378	532,378	0	
13 使用料及び賃借料	631,777	631,777	0	
17 備品購入費	697,400	697,400	0	
18 負担金、補助及び交付金	33,146,316	33,146,316	0	
19 扶助費	3,943,800	3,943,800	0	
項 07 特別支援学校費	169,037	169,037	0	
目 02 特別支援学校管理費	169,037	169,037	0	
12 委託料	169,037	169,037	0	
項 08 学校教育費	6,432,601	6,432,601	0	
目 01 高校教育費	5,380,785	5,380,785	0	
01 報酬	3,940,000	3,940,000	0	
03 非常勤職員報酬	3,940,000	3,940,000	0	
04 共済費	774,205	774,205	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	774,205	774,205	0	

□□□□

(令和 6年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
07 報償費	262,500	262,500	0	
01 その他の報償費	262,500	262,500	0	
08 旅費	79,069	79,069	0	
01 その他の旅費	72,840	72,840	0	
02 普通旅費	6,229	6,229	0	
10 需用費	0	0	0	
01 その他の需用費	0	0	0	
11 役務費	66,761	66,761	0	
13 使用料及び賃借料	258,250	258,250	0	
目 04 健康体育費	1,051,816	1,051,816	0	
01 報酬	350,000	350,000	0	
03 非常勤職員報酬	350,000	350,000	0	
04 共済費	1,727	1,727	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	1,727	1,727	0	
07 報償費	319,200	319,200	0	
01 その他の報償費	319,200	319,200	0	
08 旅費	119,529	119,529	0	
01 その他の旅費	119,529	119,529	0	
11 役務費	261,360	261,360	0	
計	86,081,262	86,081,262	0	

歳出予算執行状況調

(令和 7年度)
(令和 7年 6月30日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 12教育費	76,461,180	8,350,511	68,110,669	
項 02教育委員会費	4,092,400	350,350	3,742,050	
目 02教育総務費	0	0	0	
08旅費	0	0	0	
02普通旅費	0	0	0	
目 03教育管理費	3,972,400	350,350	3,622,050	
07報償費	20,000	0	20,000	
01その他の報償費	20,000	0	20,000	
08旅費	22,400	0	22,400	
01その他の旅費	2,400	0	2,400	
02普通旅費	20,000	0	20,000	
10需用費	1,704,000	77,550	1,626,450	
01その他の需用費	1,704,000	77,550	1,626,450	
12委託料	1,796,000	272,800	1,523,200	
14工事請負費	430,000	0	430,000	
目 04教育厚生費	120,000	0	120,000	
01報酬	120,000	0	120,000	
03非常勤職員報酬	120,000	0	120,000	
項 05高等学校費	65,271,840	6,522,146	58,749,694	
目 01高等学校総務費	17,192,000	4,598,550	12,593,450	
01報酬	9,684,000	2,243,489	7,440,511	
03非常勤職員報酬	9,684,000	2,243,489	7,440,511	
03職員手当等	3,158,000	1,475,947	1,682,053	
01その他の職員手当等	3,158,000	1,475,947	1,682,053	
04共済費	3,366,000	347,076	3,018,924	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,366,000	347,076	3,018,924	
08旅費	984,000	532,038	451,962	
01その他の旅費	636,000	184,864	451,136	

□□□□

一般会計

(令和 7年度)
(令和 7年 6月30日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
02 普通旅費	円 348,000	円 347,174	円 826	
目 02 高等学校管理費	48,079,840	1,923,596	46,156,244	
01 報酬	212,000	30,740	181,260	
03 非常勤職員報酬	212,000	30,740	181,260	
04 共済費	3,000	0	3,000	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,000	0	3,000	
07 報償費	100,000	3,000	97,000	
01 その他の報償費	100,000	3,000	97,000	
08 旅費	3,176,840	334,559	2,842,281	
01 その他の旅費	98,440	7,528	90,912	
02 普通旅費	3,078,400	327,031	2,751,369	
10 需用費	8,362,000	1,209,780	7,152,220	
01 その他の需用費	8,362,000	1,209,780	7,152,220	
11 役務費	1,389,000	176,032	1,212,968	
12 委託料	592,000	53,018	538,982	
13 使用料及び賃借料	670,000	112,467	557,533	
17 備品購入費	345,000	0	345,000	
18 負担金、補助及び交付金	33,230,000	4,000	33,226,000	
項 07 特別支援学校費	256,000	34,270	221,730	
目 02 特別支援学校管理費	256,000	34,270	221,730	
12 委託料	256,000	34,270	221,730	
項 08 学校教育費	6,840,940	1,443,745	5,397,195	
目 01 高校教育費	5,761,000	1,351,224	4,409,776	
01 報酬	4,320,000	1,080,000	3,240,000	
03 非常勤職員報酬	4,320,000	1,080,000	3,240,000	
04 共済費	763,000	119,424	643,576	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	763,000	119,424	643,576	
07 報償費	240,000	57,000	183,000	

□□□□

一般会計

(令和 7年度)
(令和 7年 6月30日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 その他の報償費	240,000	57,000	183,000	
08 旅費	74,000	18,800	55,200	
01 その他の旅費	74,000	18,800	55,200	
11 役務費	69,750	0	69,750	
13 使用料及び賃借料	294,250	76,000	218,250	
目 04 健康体育費	1,079,940	92,521	987,419	
01 報酬	420,000	57,000	363,000	
03 非常勤職員報酬	420,000	57,000	363,000	
07 報償費	295,800	28,800	267,000	
01 その他の報償費	295,800	28,800	267,000	
08 旅費	180,000	6,721	173,279	
01 その他の旅費	180,000	6,721	173,279	
11 役務費	184,140	0	184,140	
計	76,461,180	8,350,511	68,110,669	

□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					5年度	6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12)委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	943,800	1,018,270	
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	486,175	532,378	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	169,507	169,037	
計					1,599,482	1,719,685	0
(14)工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	2,079,000	
計					0	2,079,000	0
(16)公有財産購入費					0	0	
計					0	0	0
(17)備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	977,680	697,400	
計					977,680	697,400	0
(18)負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	30,292,200	33,146,316	
計					30,292,200	33,146,316	0
(21)補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年6月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち6年度からの繰越額分
(12)委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	272,800	0
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	53,018	0
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	34,270	0
計					360,088	0
(14)工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	0
計					0	0
(16)公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17)備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	0
計					0	0
(18)負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	4,000	0
計					4,000	0
(21)補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 夜間定時制高等学校校舎等管理業務	エスピトーム(株)沼津支社	1夜 5,203	1夜 5,170	1夜 5,170	随意契約	6.4.9～ 7.3.19	6.5.31	77,550	定時制課程生徒授業日の校舎等管理業務 1夜につき 1時間30分	随契1号 (少額) 単価契約	
								6.6.28	103,400			
								6.7.31	87,890			
								6.8.30	87,890			
								6.10.31	98,230			
								6.11.29	108,570			
								6.12.26	103,400			
								7.1.31	67,210			
								7.2.28	87,890			
								7.3.31	87,890			
7.4.28	25,850											
	小計	935,770										
2	可燃物収集運搬処分業務	(株)東海衛生	運搬料 1回 1,078	運搬料 1回 935	運搬料 1回 935	随意契約	6.4.5～ 7.3.31	6.5.31	32,292	可燃物の収集・運搬・処分 週1～3回 (小山・御殿場・御殿場南・御殿場特別支援)	随契1号 (少額) 単価契約	
								6.6.28	36,265			
								6.7.31	33,851			
								6.8.30	38,031			
								6.9.30	29,476			
								6.10.31	32,531			
								6.11.29	37,921			
								6.12.26	38,567			
								7.1.31	37,762			
								7.2.28	32,331			
7.3.31	31,277											
7.4.21	38,609											
	小計	418,913										
3	不燃廃棄物収集運搬処分業務	富士総業(株)	86,900	84,700	84,700	随意契約	6.9.9～ 7.3.31	7.2.10	84,700	不燃物の収集・運搬・処分	随契1号 (少額)	
4	産業廃棄物収集運搬処分業務	(株)ホクセイ	50,952	50,952	50,952	随意契約	6.11.12～ 7.3.31	6.12.24	50,952	廃蛍光管の収集・運搬・処分	随契1号 (少額)	
5	産業廃棄物収集運搬処分業務	ジャパンウェイスト(株)	62,150	62,150	62,150	随意契約	6.11.18～ 7.3.25	7.1.31	62,150	酸廃液等の収集・運搬・処分	随契1号 (少額)	
6	不燃廃棄物収集運搬処分業務	富士総業(株)	86,900	84,700	84,700	随意契約	7.1.27～ 7.3.31	7.4.18	84,700	不燃物の収集・運搬・処分	随契1号 (少額)	
	事務関係計	6#							1,637,185			
1	(工事関係) アスベスト含有調査業務	東海プラント分析センター(株)	99,000	82,500	82,500	随意契約	6.10.25～ 6.12.25	6.10.25	82,500	アスベスト含有調査	随契1号 (少額)	
								7.1.31				
	工事関係計	1#							82,500			
	合計	7#							1,719,685			

整理 番号	委 託 業務名	受 者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約 期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の内容	適 用
				当初額	変更 増減 額	計						
参考 1	自家用電気工作 物保安管理業務	杉山電気事務所 杉山 知則		834,900		834,900		6.4.1～ 7.3.31			電気工作物の保 安管理点検	御殿場高校
参考 2	消防設備等保守 点検業務	伊豆防災機器株 式会社		4,493,852		4,493,852		6.4.1～ 7.3.31			消防設備等の保 安点検業務	御殿場高校
参考 3	浄化槽保守点検	三友水処理株 式会社		971,850		971,850		6.4.1～ 7.3.31			污水処置装置・付 属施設の維持管 理	沼津東高校
参考 4	警備業務	セコム株 式会社		4,719,000		4,719,000		1.10.1～ 6.9.30			警備機器を用い た異常の有無の 監視、対処	御殿場高校
参考 5	プール浄化装置 保守点検業務	三友水処理株 式会社		196,680		196,680		6.4.11～ 6.11.30			プール循環浄化 装置の保守点検	沼津西高校
参考 6	警備業務	セコム株 式会社		9,900,000		9,900,000		6.10.1～ 11.9.30			警備機器を用い た異常の有無の 監視、対処	御殿場高校
参考 7	建築基準法第12条 に基づく定期点検	㈲コーセイ産業		808,500		808,500		6.8.20～ 6.12.20			建築・建築設備 の点検	御殿場南 高校
	計	7件										

委託料に関する調

(令和7年度)
(令和7年6月30日現在)

整理 番号	委託 業務名	受者	当初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約 期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	(事務関係) 夜間定時制高等学校校舎等管理業務	エスピトーム (株)沼津支社	1夜 8,800	1夜 8,800		1夜 8,800	指名	7.4.3 ～ 8.2.27	7.5.29 7.6.27 小計	円 123,200 149,600 272,800	定時制課程生徒 授業日の校舎等 管理業務 1夜につき 1時間20分	単価契約
2	可燃物収集運搬 処分業務	富士総業(株)	運搬料 1回 1,210 処分料 1kg 8円	運搬料 1回 1,210 処分料 1kg 8円		運搬料 1回 1,210 処分料 1kg 8円	随意 契約	7.4.4 ～ 8.3.31	7.5.29 7.6.30 小計	42,256 45,032 87,288	可燃物の収集・ 運搬・処分 週1～3回 (小山・御殿場・ 御殿場南・御殿 場特別支援)	随契 1号 (少額) 単価契約
	事務関係計	2件								368,088		
	合 計	2件								368,088		
参考 1	自家用電気工作 物保安管理業務	杉山電気事務所 杉山 知則	/	/		834,900	/	7.4.1～ 8.3.31	/	/	電気工作物の保安 管理点検	御殿場高校
参考 2	消防設備等保守 点検業務	伊豆防災機器(株)	/	/		4,579,652	/	7.4.1～ 8.3.31	/	/	消防設備等の保安 点検業務	御殿場高校
参考 3	浄化槽保守点検	三友水処理(株)	/	/		945,120	/	7.4.1～ 8.3.31	/	/	汚水処置装置・付 属施設の維持管理	沼津東高校
参考 4	警備業務	セコム(株)	/	/		9,900,000	/	6.10.1～ 11.9.30	/	/	警備機器を用いた 異常の有無の監 視、対処	御殿場高校
	計	4件										

□□□□

補助金支出調

(令和6年度)

整理 番号	対 象 事業名	交付先	補助の 根 拠	事業の 実 績	総 事業費	補助 金額	補 助 率	交付決定		交 付		事業完了		摘 要
								年 月 日	金 額	年 月 日	金 額	年 月 日	確 認 年 月 日	
1	高等学校 定時制課程 及び通信制 課程修学 補助金	定時制 課程生 徒3人	高等学 校定時 制の課 程及び 通信制 の課程 修学補 助金交 付要綱	定時制 課程に 在学す る生徒 を対象 とした 教科書 等購入 代金の 補助	円 11,516	円 11,516	100%	6.11.15	7,042	6.12.6	7,042	6.11.5	6.11.5	
								7.1.17	4,474	7.2.10	4,474	7.1.8	7.1.8	
計		1件			11,516	11,516			11,516		11,516			

令和7年度（令和7年6月30日現在）実績なし

□□□□

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	総会・研究協議会参加費	円 4,000	6.5.2
2	特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会受講料	公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター	受講案内による	講習会受講料	13,200	6.5.23
3	防火管理講習受講料	一般財団法人 日本防火・防災協会	受講案内による	防火管理講習受講料	8,000	6.6.18
4	全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会東海支部負担金	全国高等学校定時制・通信制通制教頭・副校長協会東海支部	開催要項による	総会・研究協議会参加費	2,000	6.7.12
5	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	静岡県高等学校長協会生徒指導連絡協議会	開催要項による	協議会参加費	2,000	6.7.19
6	高等学校就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期 3月分 282人)	高等学校就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	8,375,400	6.7.31
7	高等学校就学支援金	定時制高等学校授業料(第1期 3月分 30人)	高等学校就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	243,000	6.7.31
8	高等学校就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期 5月分 268人)	高等学校就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	13,266,000	6.10.31
9	高等学校就学支援金	定時制高等学校授業料(第2期 3月分 1人)	高等学校就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	8,100	6.10.31
10	高等学校就学支援金	定時制高等学校授業料(第2期 5月分 27人)	高等学校就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	364,500	6.10.31
11	高等学校就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期 4月分 267人)	高等学校就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	10,573,200	7.1.31
12	高等学校就学支援金	定時制高等学校授業料(第3期 4月分 25人)	高等学校就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	270,000	7.1.31
13	高等学校就学支援金	定時制高等学校授業料(第3期 1月分 2人)	高等学校就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	5,400	7.1.31
計		13 件			33,134,800	

□□□□

負担金支出調

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	総会・研究協議会参加費	4,000	7.5.1
計		1 件			4,000	

□□□□

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	静岡県立小山高等学校揚水ポンプ (NO. 1) 更新工事	駿東郡小山町 竹之下地内	円 2,079,000	円 2,079,000	円 0
		合 計	1件	2,079,000	2,079,000	0

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
参考 1	教育管理費	[第36-Z1507-01号]小山高等学校普通教室棟トイレ改修工事 (建築)	駿東郡小山町 竹之下地内	円 24,618,000	円 22,550,000	円 1,529,000
参考 2	教育管理費	[第36-Z2417-01号]小山高等学校普通教室棟トイレ改修工事 (機械設備)	駿東郡小山町 竹之下地内	円 25,388,000	円 25,245,000	円 △ 1,210,000
		合 計	2件	50,006,000	47,795,000	319,000

事 調

(令和6年度)

額	契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
円 2,079,000	随契	(有)荻田水道工事店	R7. 1. 22 R7. 3. 28	円 2,079,000	小山高校ポンプ室内、揚水ポンプ(No. 1)の更新	—	令達 R6. 12. 17 支払 R7. 4. 21 随契1号(少額)
2,079,000				2,079,000			

額	契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
円 24,079,000	指名	白幸産業株式会社	R6. 7. 25 R6. 12. 13	円 24,079,000	トイレの洋式化、乾式化に伴う建築改修工事	—	本庁経理 (建築工事課)
円 24,035,000	一般	株式会社小島屋商会	R6. 6. 26 R6. 12. 13	円 24,035,000	トイレの洋式化、乾式化に伴う機械設備改修工事	—	本庁経理 (設備課)
48,114,000				48,114,000			

※令和7年度 該当なし

□□□□

公 有 財 産 調 査

(令和6年度)

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘 要
	数量又は 面 積	台 帳 価 格	数量又は 面 積	台 帳 価 格	数量又は 面 積	台 帳 価 格	数量又は 面 積	台 帳 価 格	
行政財産	/	千円 1,130,034	/	千円 579	/	千円 48,646	/	千円 1,081,967	
土 地	m ² 40,354.88	701,944					m ² 40,354.88	701,944	
立木竹	本 19	113					本 19	113	
建 物	m ² <u>5,163.94</u> 11,927.54	359,908				43,788	m ² <u>5,163.94</u> 11,927.54	316,120	
工作物	個 78	68,069	1	579		4,858	個 79	63,790	
普通財産	/	142,563	/	0	/	142,563	/	0	
土 地	m ² 2,238.38	87,383			2238.38	87,383	m ² 0.00	0	
建 物	m ² <u>414.41</u> 1,111.50	55,180			m ² <u>414.41</u> 1111.50	55,180	m ² <u>0.00</u> 0.00	0	
工作物	個 12	0			個 12	0	個 0	0	
公有財産に 準ずるもの	/	233	/	0	/	0	/	233	
電話加入権	件 3	233					件 3	233	

「令和7年度中 増減なし」

□□□□

借 地 借 家 等 調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又は 面積	借 料		契約期間	所有者又は 契約者氏名	用 途
				台帳	現況		単価	年 額			
1	土地	学校敷地	駿東郡小山町 竹之下字大野原 369地先			m ² 35.00	円	円 無償	R7.4.1 R10.3.31	小山町長	学校用地 (普通河川)
2	建物	事務所建	駿東郡小山町 竹之下369	鉄骨造	平屋建	m ² 300.50	円	円 無償	R7.4.1 R12.3.31	静岡県立小山高等学校 部活動等施設整備委員 会委員長	弓 道 場
3	建物	雑屋建	〃	木造	平屋建	m ² 9.61		無償	R7.4.1 R12.3.31	〃	部 活 動 用具倉庫
4	工作物	雑工作物	〃	鉄骨造		m ² 45.60		無償	R7.4.1 R12.3.31	〃	野球投球 練習場
5	工作物	冷暖房装置	〃			1個		5,214,953	R3.7.1 R16.6.30	三井住友ファイナンス& リース株式会社	普通教室 空 調
6	工作物	雑工作物	〃			m ² 1.68		無償	R7.4.1 R12.3.31	静岡県立小山高等学校 後援会長	彫刻
7	工作物	雑工作物	〃			m ² 5.02		無償	R7.4.1 R12.3.31	〃	ベンチ (8脚)
8	工作物	雑工作物	〃			1個		無償	R7.4.1 R12.3.31	〃	時計柱
9	工作物	雑工作物	〃			m ² 0.32		無償	R7.4.1 R12.3.31	静岡県立小山高等学校 同窓会長	掲示板
10	工作物	雑工作物	〃			m ² 7.26		無償	R7.4.1 R12.3.31	〃	校訓石碑
11	工作物	冷暖房装置	〃			1個		3,646,646	R6.7.1 R19.6.30	NTT・TCリース株式会社 静岡支店	特別教室 空 調
	計					m ² 404.99 3個		8,861,599			

□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

区 分	事業名又は 契 約 名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)						
				4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
長期継 続契約	印 刷 機 賃 貸 借 契 約	印刷機2台 (契約日) R4. 4. 1	1,980,000	円 396,000	円 396,000	円 396,000	円 396,000	円 396,000	円	円
	電 子 複 写 機 賃 貸 借 契 約	電子複写機2台 (契約日) R6. 4. 1	1,125,234	円	円	円 225,050	円 225,046	円 225,046	円 225,046	円 225,046

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年6月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	駿東郡小山町竹之下369	学校敷地	学校敷地	支柱1本	1,500	1,500	R7.4.1 R12.3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	支柱1本
2	土地	学校敷地	駿東郡小山町竹之下369	学校敷地	学校敷地	0.25㎡		免除	R7.4.1 R12.3.31	静岡県立小山高等学校後援会会長	遺跡案内板1箇所
3	土地	学校敷地	駿東郡小山町竹之下369	学校敷地	学校敷地	86.95㎡		免除	R7.4.1 R12.3.31	小山町長	カートレール
4	土地	学校敷地	駿東郡小山町竹之下369	学校敷地	学校敷地	18.00㎡		免除	R5.4.1 R8.3.31	静岡県立小山高等学校後援会会長	パン販売所
	建物	事務所建		鉄筋コンクリート造陸屋根							
5	土地	学校敷地	駿東郡小山町竹之下369	学校敷地	学校敷地	12.50㎡		免除	R5.4.1 R8.3.31	静岡県立小山高等学校PTA会長	団体職員執務場所及び通勤用車両駐車場所
	建物	事務所建		鉄筋コンクリート造陸屋根		3.30㎡					
6	土地	学校敷地	駿東郡小山町竹之下369	学校敷地	学校敷地	0.78㎡		免除	R3.4.1 R8.3.31	小山町長	避難所看板
7	土地	学校敷地	駿東郡小山町竹之下369	学校敷地	学校敷地	3.00㎡	704,000	704,000	R7.4.1 R10.3.31	コカ・コーラ ボトラーズ ジャパン株式会社ベンディング関西中部営業本部ベンディング中部営業地区統括部ベンディング静岡支店	自動販売機2台
8	土地	学校敷地	駿東郡小山町竹之下369	学校敷地	学校敷地	3.00㎡	528,000	528,000	R7.4.1 R10.3.31	ダイドードリンコ株式会社東海営業部長	自動販売機2台
	建物	事務所建		鉄筋コンクリート造陸屋根							
9	土地	学校敷地	駿東郡小山町竹之下369	学校敷地	学校敷地	1.00㎡	22,000	22,000	R7.4.1 R10.3.31	明治乳業御殿場宅配センター仲嶋牛乳店	自動販売機1台
	建物	事務所建		鉄筋コンクリート造陸屋根							
10	土地	学校敷地	駿東郡小山町竹之下369	学校敷地	学校敷地	0.49㎡		免除	R6.4.1 R9.3.31	沼津土木事務所長	道路照明灯(使用承認)
11	土地	学校敷地	駿東郡小山町竹之下369	学校敷地	学校敷地	621.08㎡		免除	R6.4.1 R9.3.31	御殿場特別支援学校長	小山分校教室ほか(使用承認)
	建物	事務所建		鉄筋コンクリート造陸屋根							
12	土地	学校敷地	駿東郡小山町竹之下369	学校敷地	学校敷地	19.48㎡		免除	R6.4.1 R9.3.31	御殿場特別支援学校長	小山分校倉庫、非常用自家発電機(使用承認)
13	土地	学校敷地	駿東郡小山町竹之下369	学校敷地	学校敷地	1423.00㎡		免除	R7.5.24 R7.5.24	小山町危機管理局長	小山町土砂災害防止住民避難訓練
	建物	事務所建		鉄骨鉄筋コンクリート造・長尺鉄板瓦葺							
合計								1,255,500			

備品・図書調

(令和 6年度)

所属 0000221085 県立高校・中学校 小山高等学校

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-02 台類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
01-03 いす類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-04 収納保管庫類	50	(0) 0	0	(0) 0	0	50
01-07 書類整理器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-10 印判類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-12 寝具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-13 厨房器具類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-14 冷暖房器具類	56	(0) 2	501,600	(2) 8	0	50
01-17 洗濯機	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-99 その他の庁用器具類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
02-01 情報処理機器類	167	(0) 1	195,800	(0) 1	0	167
02-02 情報伝達機器類	13	(0) 0	0	(0) 1	0	12
02-03 再生機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-01 撮影機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-02 観察・観測用光学機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
03-03 視覚用再生等機器類	9	(0) 0	0	(0) 0	0	9
04-01 診療・診断用機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
04-03 看護用機器類	2	(0) 0	0	(0) 2	0	0

□□□□

備品・図書調

(令和 6年度)

所属 0000221085 県立高校・中学校 小山高等学校

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
05-01 強度(物性)試験計測機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
05-02 波動・熱試験計測機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-03 電気試験計測機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
05-04 分析化学機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
05-06 環境化学機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-08 度量衡測定機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-99 その他の試験計測機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
07-01 農産用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
08-01 車両類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-03 社会用器具類	2	(0) 0	0	(0) 2	0	0
10-05 生物物理化学用器具類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
10-06 家庭科用器具類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
10-07 音楽用器具類	22	(0) 0	0	(0) 0	0	22
10-08 芸術用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-12 体育保健用器具類	18	(0) 0	0	(0) 0	0	18
12-01 雑機器	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
50-01 図書	9	(0) 0	0	(0) 0	0	9
計	445	(0) 3	697,400	(2) 14	0	434



備品・図書調

(令和7年度)

所属 0000221085 県立高校・中学校 小山高等学校

区分	令和7年 3月31日 現在	増		減		令和7年 6月30日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-02 台類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
01-03 いす類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-04 収納保管庫類	50	(0) 0	0	(0) 0	0	50
01-07 書類整理器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-10 印判類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-12 寝具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-13 厨房器具類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-14 冷暖房器具類	50	(0) 0	0	(0) 0	0	50
01-17 洗濯機	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-99 その他の庁用器具類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
02-01 情報処理機器類	167	(0) 0	0	(0) 0	0	167
02-02 情報伝達機器類	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
02-03 再生機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-01 撮影機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-02 観察・観測用光学機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
03-03 視覚用再生等機器類	9	(0) 0	0	(0) 0	0	9
04-01 診療・診断用機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
05-01 強度(物性)試験計測機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3

□□□□

備品・図書調

(令和7年度)

所属 0000221085 県立高校・中学校 小山高等学校

区分	令和7年 3月31日 現在	増		減		令和7年 6月30日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
05-02 波動・熱試験計測機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-03 電気試験計測機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
05-04 分析化学機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
05-06 環境化学機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-08 度量衡測定機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-99 その他の試験計測機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
07-01 農産用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
08-01 車両類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-05 生物物理化学用器具類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
10-06 家庭科用器具類	8	(0) 0	0	(0) 8	0	0
10-07 音楽用器具類	22	(0) 0	0	(0) 0	0	22
10-08 芸術用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-12 体育保健用器具類	18	(0) 0	0	(0) 0	0	18
12-01 雑機器	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
50-01 図書	9	(0) 0	0	(0) 0	0	9
計	434	(0) 0	0	(0) 8	0	426

主 要 備 品 調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	パーソナルコンピュータ(一式) パソコン教室用デスクトップPC	週5日(年間260日) 授業用	令和2年1月	円 6,194,793
2	02-01	パーソナルコンピュータ周 辺機器	タブレット端末ほか 授業用ipad、プロジェクター	週5日(年間260日) 授業用	令和1年9月	2,719,688
3	02-02	放送装置	視聴覚室用 放送卓、ミキサー、ワイヤレス 等	週3時間 授業、学校行事用	平成29年3月	1,296,000
4	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ 210E	学期6回(年間18日) 学校行事用	昭和61年2月	1,260,000
5	10-12	トレーニング用器具	トレーニング用具 セノーBA2113	毎日(年間260日) トレーニング	平成1年12月	1,133,000
6	02-02	その他の情報伝達機器	グループワーク室映像機器 液晶プロジェクター等	週5日(年間260日) 英語授業等	平成29年3月	729,000
7	02-02	放送装置	放送装置	学期6回(年間18日) 体育館放送用	平成27年1月	680,400
8	01-99	その他の庁用器具	AI顔認証サーモグラフィカメラ	毎日(通年) 教務事務用	令和3年2月	638,000
9	02-02	その他の情報伝達機器	映像システム ナショナルSU-AV505Z他	毎日(年間260日) 全・定授業	平成11年3月	588,000
10	03-03	その他の投影機	視聴覚室映像機器 液晶プロジェクター	週3時間 授業、学校行事用	平成29年3月	583,200
11	02-01	その他の情報処理機器	校内LANサーバー一式 無停電電源装置等	毎日(通年) 校内LANシステム	平成29年3月	529,308
12	01-01	その他の机	グループワーク室机 教員用マスター卓等	週5日(年間260日) 英語授業等	平成12年11月	516,600
13	02-01	その他の情報処理機器	教材サーバ	毎日(通年) 職員用ファイルサーバ	平成27年2月	472,824
14	01-04	たな	木製書架	毎日(通年) 図書室用	昭和62年2月	445,000
15	01-04	たな	木製書架	毎日(通年) 図書室用	昭和62年2月	445,000
16	01-04	たな	木製書架	毎日(通年) 図書室用	昭和62年2月	445,000
17	03-02	その他の観察・観測用光 学機器	CCDスコープスクールビジョン	年10回(年間10日) 生物授業用	平成8年3月	411,000
18	01-04	その他の収納保管庫	両開き耐火庫 オカムラ4442HA	毎日(通年) 管理用	平成10年3月	389,000
19	01-04	その他の収納保管庫	薬品庫 島津 AHX-60M	毎日(通年) 化学薬品保管用	平成18年2月	385,875
20	01-99	その他の庁用器具	散水台車	週1回(年間 50日) 砂塵防止用	平成29年8月	378,000